

東北地区 大学図書館協議會誌

第 73 号
令和 4 年 5 月



宮城大学大和キャンパス本部棟（学術情報センター併設）

寄稿 知の共有と発信を担う ——弘前大学附属図書館アカデミック・コモンズ	1
コロナ禍でのリニューアルオープンと半年の利用動向：東北大学附属図書館医学分館	4
第 76 回東北地区大学図書館協議会総会	8
日程	8
総会資料	9
総会議事メモ	38
図書館統計年報	39
東北地区大学図書館協議会総会当番地区・当番大学	42
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	43
東北地区大学図書館協議会会則等	44
東北地区大学図書館協議会加盟館名簿	55

知の共有と発信を担う ― 弘前大学附属図書館アカデミック・コモンズ

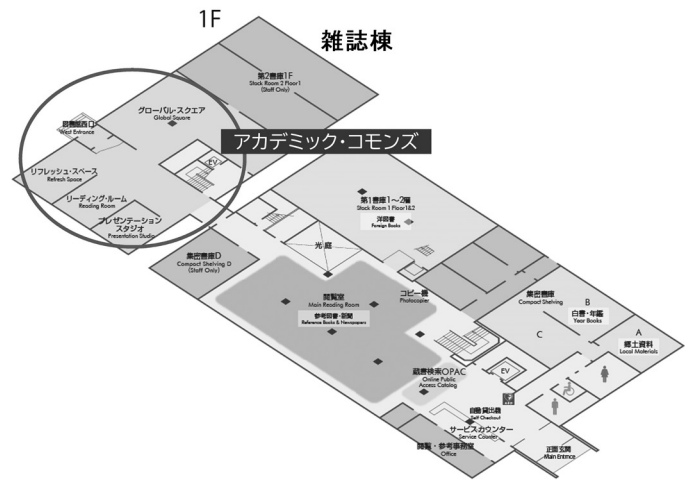
弘前大学附属図書館資料管理グループ係長
長谷川 友紀

はじめに

令和3年5月、雑誌棟1階に「アカデミック・コモンズ」がオープンした。本館の建物は平成26年に耐震改修工事を終えていたが、その際に耐震改修工事の対象にならなかった隣接する雑誌棟の建物について、今回改修工事を行った。これまで雑誌棟1階は事務用書庫として利用者には開放していないスペースだったが、そこに「アカデミック・コモンズ」を設置し、既存のラーニング・コモンズの機能拡充を図った。

1. 知の交錯する場所

「アカデミック・コモンズ」のコンセプトは「知の交錯する場所」。ここに集う人々の間で様々な「知」がブレンドされ、それらが共有・発信されることで新たな「知」が創出される——そういった知の交流や志向の活性化等に寄与できる場を提供することを目指し設置した。



1階フロアマップ



2. グローバル・スクエア

アカデミック・コモンズの中でメインとなるグローバル・スクエアは、天井までの壁面ホワイトボードを使用した大画面に、常時BBC ワールドニュースが放映されている。週に1～2回は図書館で所蔵している映画やドキュメンタリー等も上映し、シアター気分を味わえる空間となっている。この場所は、壁面ホワイトボードを使用し、グループワークを行う場所として利用することもできるし、事前に予約することで、映像資料や図書館資料等を活用する授業や講演会等のイベントで利用することも可能である。オープン以降、英語の授業の他に、就活イベントや留学生との交流会など、多様な目的に利用されている。

このシアターエリアの反対側のエリアは、壁面書架に英語学習のための多読本やDVD、留学生向けの日本語学習や日本文化に関する本がずらりと並んだ書斎的な空間となっており、多読エリアと呼んでいる。BBC ワールドニュースをBGM 代わりに聴きながら英語学習するのに最適な空間となっている。

このフロアを訪れた人が、そこで行われている講演会や発表、ポスターセッション等を参観したことにより、知的なインスピレーションを得る、知的に良い刺激を受ける——そのような場所として役立つことを期待している。



グローバル・スクエア
シアターエリア



グローバル・スクエア
多読エリア

3. プレゼンテーション・スタジオ

プレゼンテーション・スタジオは、講義動画や授業教材等の動画コンテンツを制作するための撮影機材が揃っている予約制の部屋で、パーティションが透明なので通路側から部屋の中が見えるようになっている。この部屋に備え付けられている機材は、天吊型プロジェクター、電動スクリーン、多機能な電子黒板の他に、オンライン会議等に使用できる Web カメラ、動画撮影用のビデオカメラ、三脚、iPad スタンド、編集用 PC、授業で使える書画カメラ等である。オンライン配信や、発表のリハーサル等にも利用されており、壁面はホワイトボード仕様になっているので、それを利用したグループワーク等も可能である。

4. リーディング・ルーム

リーディング・ルームの壁面書架には、ビジネス関連の書籍や話題の小説・文芸書等が並び、ゆったりしたソファでリラックスしながら読書できる空間となっている。通常は広場に面した開放的な空間だが、パーティションで仕切って個室にすることも可能で、メディア向けの取材場所としても活用できる。

5. リフレッシュ・スペース

館内に飲食可能なスペースが欲しいという利用者からの要望に応え、館内で唯一食事ができる場所として、リフレッシュ・スペースを設置した。ここはお洒落なカフェにいるような雰囲気、学生に大変人気があり、パソコン等を使用して長居する学生も見かける。飲食可能スペースができたことにより、勉強や研究の手を休め、休憩を取りながら、図書館に長時間滞在することが可能となった。



プレゼンテーション・スタジオ



リーディング・ルーム



リフレッシュ・スペース



図書館西側入口

6. 図書館西側入口

以前は、附属図書館正面玄関からしか入館できなかったが、アカデミック・コモンズ設置に併せて、図書館西側入口に入退館ゲートを設置し、こちらからも入館できるようにした。西側入口は教育学部棟に面しており、特に教育学部の教職員・学生の利便性が高まったと好評である。

7. 今後への期待

アカデミック・コモンズを設計している段階では、新型コロナウイルスという感染症が大流行することになるとは夢にも思わず、ラーニング・コモンズの機能充実を図るための施設・設備を設計した。それが、新型コロナウイルス感染症の流行により、テーブルの上にアクリルパーテーションを置いたり、利用人数を制限したり、グループワークを制限するなど、アカデミック・コモンズの本格的な稼働ができない状況が続いている。もし改修工事が1年遅かったら、個人ブースの設置など、今とは違った設計をしたかもしれない。早くコロナ禍が収束し、多くの人が集まり活発に利用されるようになることを願っている。

寄 稿

コロナ禍でのリニューアルオープンと半年の利用動向 東北大学附属図書館医学分館

東北大学附属図書館医学分館運用係長

渡邊 愛子

東北大学附属図書館医学分館（以下当館）は、東北大学附属図書館のキャンパスごとに設置された分館の一つで、大正4(1915)年以来継承する40万冊弱の蔵書をもって活動する医学系の専門図書館である。星陵キャンパスに立地する、医学部、歯学部をはじめとしたキャンパス内の学部、研究所、大学病院に所属する学生・教職員8000名弱を主な利用対象としている。

当館は、令和元(2019)年8月から改修工事のために休館し、令和3(2021)年5月10日にリニューアルオープンした。この稿の執筆を始めた令和4(2022)年2月上旬に、リニューアルオープン以降の利用者のみの延べ来館者が10万人を超えた。改修前の年間総来館者は17万人だったが、月ごとに比較すれば、2割減程度で、コロナ禍にあつて健闘しているのではないかと考えている。

改修工事からリニューアルのまろもろについて、改修工事中の臨時図書室の運営や、移転作業担当チームの素晴らしい連携をはじめとした資料の移転のさまざまな経験、移転作業完了間際の福島県沖地震の被害と復旧、予想もしなかったコロナ禍への対応など、ご紹介したいことはたくさんある。しかし、紙幅も限られることから、本稿では、改修計画における、主に利用者ゾーンの計画趣旨と、リニューアルオープン後の利用動向を紹介する。利用動向は、リニューアルオープン後に実施した利用者アンケートのコメントを織り交ぜて紹介したい。アンケートの詳細は、本稿の最後に紹介する。

なお、工事の概要や改修後の施設等の紹介を「医学図書館」*に掲載したので、あわせてお読みいただきたい。

1. ゾーニング

当館は、昭和59(1984)年に新築された3階建ての本館と平成16(2004)年に増築された2階建ての別棟からなっている。改修工事の予算申請をしても、なかなか認められなかったことから、平成29(2017)年度に、改修工事が行われなくても、館内のゾーニングを見直し、ラーニングコモンズを設置する検討をしていた。当館では、分野の特性として、多数の洋雑誌を所蔵しているが、電子ジャーナルの普及により、紙媒体の需要はかなり減っている。平成29年度に開館した青葉山新キャンパス農学分館内の共用書庫にこれらの資料を移管し、利用者用のスペースを確保することにした。移管資料を決定し、それがどのくらいのスペースを生むのかの検討を年度内に行った。

平成30(2018)年末に、本館の改修工事が内示されたが、基本的な改修プランは、29年度案を採用し、1階がラーニングコモンズ等会話のフロア、2階は洋雑誌と閲覧室、3階が図書と学修スペースという考え方をベースに、各階、部屋のプラン、什器の選定を行った。

次項では、改修後の館内の各階エリアについて紹介する。

2. 各階エリア案内

1) 1階 ラーニングコモンズ (図1)

ようやく整備できたラーニングコモンズであるが、オープン当初、コロナ対策として、1人席で運用を開始した。4人掛けの大きな机を一人で利用できるとあって、かなり人気があり、大変静かな閲覧席として、9月末まで利用された。コロナ第5波の収束に伴い、4人用のアクリル仕切りを設置し、10月からグループ席として運用を始めた。しかし、静寂席のなごりで、複数人で利用していても、会話ができる雰囲気にはならなかった。1月の国試、学科試験のシーズンを迎え、ようやく話し合う学習が行われるようになり、いわゆるラーニングコモンズらしい空間が生まれつつある。



図1 ラーニングコモンズ内

2) 1階 グループ学習室

グループ学習室は、改修前の2室から6室に増設し、場所も3階から1階に変更した。各学習室は自動制御の換気設備を備え、空気清浄機を設置した。利用可能人数を本来の座席数の半分にして、リニューアル当初から、グループ学習室として運用している。図書館システムから部屋の予約ができ、試験期などは、予約が取れないほどの大人気である。

ラーニングコモンズでのグループ活動ができなかったため、グループ学習室は2名から予約ができ、2名の利用が全体の利用数の半分を占めている。ラーニングコモンズとの使い分けを考慮し、利用したい人が、より利用しやすい運用を新年度に向けて検討している。

3) 2階 北側ブース席

2階は主に洋雑誌のフロアになっている。およそ7500タイトル、20万冊が配架されている。その書架を囲む窓際に、閲覧席が39席配置されている。書架の周りに席があるので、紙が音を吸収し、結果的にとても静かなフロアになっている。席ごとに書架の通路を通してアクセスするような配置で、個室感があり、午後になれば、ほとんど満席で利用されている。

2階北側ブース席、と呼んでいるのは、一辺が160センチのL型のデスクを配置し、パーティションで囲って、半個室にした6席である。リニューアル後に最も人気のある席になっている。

4) 2階 閲覧室

この部屋は、もともと、大学院生以上が利用できる研究者閲覧室と呼ばれていた。北側ブース席の場所は、研究個室が3室あった。本館が新築された1980年代から90年代の様相として、試験期などで、どんなに閲覧席が学生で混んでいても、来館して、雑誌を読むスペースを確保しておく必要があり、このような部屋が用意されていたと考えられる。データベースと電子ジャーナルがメジャーとなった今日、身分による部屋の使いわけは、もはや不要であろうと判断し、個室は取り壊し、「研究者」閲覧室の名称は廃止した。

閲覧室は、研究者用だった改修前の雰囲気を尊重し、この部屋で使われていた重厚な古い什器を利用している。入口の壁はガラス壁にして、明るさを取り入れた。この部屋の整備は、他よりも少し遅れて、リニューアルオープン後に、カーテンや、各機のライトを設置した。部屋として整うにつれ、利用者も増えている。

5) 3階 閲覧席

3階は図書のフロアになっている。当館では、医学書は米国国立医学図書館分類、一般書は国立国会図書館分類を採用している。およそ5万冊がある。フロアの1/3が書架、2/3が閲覧席、といった割合である。改修のコンセプトのひとつに、多様な席を用意することがあり、3階はエリアごとに席のタイプが異なっている。

基本的には白を基調とした平机に、既製の仕切り板とコロナ対策の亚克力板の組み合わせで、80センチの対面仕切りの高さを維持しつつも、見通しを確保した。2階を含めて、すべての机は、120センチの幅が基本になっている。全席で個別のライトと電源も利用できるようにした。

3階中央には、4人掛けの大テーブル9台が並んでおり、3階閲覧室を開放的な雰囲気になっている。改修前から利用しているテーブルだが、一人の幅が140センチは、知らない人でも隣に座れる距離感のようだ。「周りの人が頑張っているのを見て、3階で勉強すると自分のモチベーションも上がる」という感想が寄せられている。

窓側カウンター席は、「絶対にだれとも目が合わない、でも、病院の庭園の緑に癒される」席として人気がある。

6) 3階 北側キャレル席 (図2)

旧来型の対面キャレル席を利用している。横幅は90センチながら、パーティションと荷物台を組み合わせ、一人の空間としては、120センチ幅を実現している。キャスターのない木製の椅子を利用しているが、「動かない椅子がいい」という利用者もいる。



図2 キャレルと荷物台
パーティションの組み合わせ

7) 3階 閲覧室 (図3)

3階の北側奥には、独立した部屋としての閲覧室がある。2階北側ブース席と同様の、半個室7ブースがある。ここは、吸音のパーティションを使用し、天井も若干低いので、最も隠れ家的な、集中できる部屋になっている。当初、部屋の入り口から空席がわかりづらかったようで、利用が伸びなかった。各ブースに、「使用中/空室」のサインを設置したところ、ほとんど満席で利用されるようになった。

8) 3階 PC席

改修以前、常設のパソコン席は、40席ほどあり、かなり利用されていた。令和2(2020)年度の入学生から、大学はBYOD(Bring Your Own Device)方針をとり、PCは個人で持参するものとなった。ほとんどの学生は、ノートPC、タブレット、スマホの3台持ちで勉強をしている。とはいえ、学生ではない利用者、BYOD対応年以前に入学した学生、今日は持ってこなかった学生のためにノートPC12台を用意した。

同じブロックの閲覧席と一体的な運用にしているが、この席は「予備校の自習室ボーイ」らしく、人気がある。設置されたPCの上に、自分のPCを重ねて席を使っている様子も見られるので、今後の学生の動向に合わせて、PC台数は検討を要する。



図3 「使用中/空室」サインを
付けた3階閲覧室ブース席

3. コロナ対策

改修工事の途中で、新型コロナウイルスの流行が始まった。一部什器の選定や配置などで、コロナ対策を行うことができた。閲覧席へのアクリル板の設置は既述の通りである。各席の配置も、当初のプランより、ゆとりを持ったものとした。

新規で設置した入館ゲートに、サーモカメラを追加した。マスクの着用確認と体温の測定結果を連動してゲートの認証をしている。若干、入館に手間取る場合があるが、大きな混乱はなく、運用できている。(図4)

4. 利用者の動向

令和3年6月末から7月にかけて、「オシエテ☆オシノデスク」という利用者アンケートを行った。これは、さまざまな場所の閲覧席を周知すること、利用の様子をうかがうことを目的にした。全座席に用意したチラシからGoogle Formにアクセスして、好きなタイプの席に投票し、コメントを投稿するという形で実施し、100件以上の回答を得た。

ほとんどのタイプの席に、まんべんなく投票がされ、いろいろの席を用意したことが、まさに、利用者の多様なニーズに合致したことを確認できた。机が広い、仕切りがある、集中できる、といったコメントが寄せられた。



図4 サーモカメラを取り付けた入館ゲート

一般的な統計で言えば、入館者は、改修前の約8割、貸出冊数は、約3割である。

最初に述べたように、入館者は、コロナ禍の割には、健闘しているといえるだろう。ツイッターでは、「新しくて居心地がいい」といった本学学生と思われる投稿もあるので、改修の集客効果は一定程度あるだろう。試験対策など、グループで学習する傾向が強く複数人で来館することが多い。また、他キャンパスに比べて学生の居住地に近く、オンライン授業で必ずしも登校しなくてもよい他学部学生の利用も入館者数に関係しているだろう。

貸出冊数の減少は、学生の変化に影響されていると考えられる。特に医師国家試験用のテキスト類の利用が激減しているのだが、それらのテキスト類は、個人利用向けのオンライン版が販売されていることによると考えている。また、オンライン授業により、そもそもキャンパスに来ていないこと、オンライン授業の形式が、図書館の資料を使った学習とは違った学び方を生んでいるのではないかと思われる。

5. 終わりに

本誌が刊行される頃には、リニューアルオープン1周年を迎える。図書館は毎日利用され、変化していくものなので、リニューアルして終わり、ということはない。日々の利用者の動向を観察し、その時々の方針の答えを導けるように、運営をしていきたい。

参考文献

* 照内弘通．会員館紹介 東北大学附属図書館医学分館．医学図書館．2022;69(1) p 1-2.

第 76 回東北地区大学図書館協議会日程

開 催 日 時 令和 3 年 9 月 2 4 日（金）～令和 3 年 9 月 3 0 日（木）

総 会 会 場 メール会議（当番館：宮城大学学術情報センター）

1. 総 会

(1) 報告事項

- ① 令和 2 年度活動報告について
- ② 令和 2 年度一般報告について
- ③ 令和 2 年度研修部会活動報告について
- ④ フレッシュパーソンセミナー報告について

(2) 協議事項

- ① 令和 2 年度決算書（案）について
- ② 令和 2 年度記念事業基金決算書（案）について
- ③ 令和 2 年度監査報告について
- ④ 令和 3 年度事業計画（案）について
- ⑤ 令和 3 年度予算書（案） / 令和 3 年度記念事業基金予算書（案）について
- ⑥ 役員館の選出について
- ⑦ 研修部会委員の選出について
- ⑧ 第 7 7 回総会の当番地区（館）について

(3) 承合事項

- ① 学外者の図書館利用について
- ② 感染症対策、非接触機器について

第 76 回総会資料

令和 2 年度 活動報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

第 7 5 回(令和 2 年 9 月)以降の協議会の活動について、以下の通り報告する。

1. 研修会等の開催

1) 令和 2 年度国立大学図書館協会東北地区協会職員研修 (職員の企画・運営による職員のためのワークショップ)

主 催：国立大学図書館協会東北地区協会

後 援：東北地区大学図書館協議会

日 時：令和 3 年 1 月 2 7 日(水) 1 3 : 0 0 ~
1 6 : 5 5

会 場：オンライン形式

内 容：演題 図書館の魅力再発見：クラウドファンディングの芽を探せ!!

講師 鎌倉 幸子 氏(かまくらさちこ株式会社)

受講者：4 2 名(申込者、主催者 6 名除く)

(内訳：国立大学 3 5 名、公立大学 4 名、
私立大学 3 名、公共図書館 0 名
青森 2 名、秋田 6 名、岩手 2 名、
宮城 1 4 名、山形 0 名、福島 7 名、
東北地区以外 1 1 名)

2) 2 0 2 1 年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー

日 時：令和 3 年 8 月 2 6 日(木) 1 0 : 0 0 ~
1 5 : 3 0

会 場：オンライン形式

内 容：基本編 佐藤 義則(東北学院大学図書館
長 文学部歴史学科教授)

佐々木 篤(東北学院大学図書館
図書情報課 課長補佐)

小野寺 毅(東北大学附属図書館
情報管理課図書情報係長)

菅原 真紀(東北大学附属図書館
情報管理課雑誌情報係)

上村 法子(東北大学附属図書館
工学分館 整理・運用係)

発展編 杉山 禎広(秋田大学附属図書館
主査)

川口 達也(丸善雄松堂株式会社
学術情報ソリューション事業部)

受講者：2 2 名

(内訳：国立大学 1 0 名、公立大学 3 名、私立大学
9 名、青森 1 名、秋田 2 名、岩手 1 名、宮城
1 2 名、山形 3 名、福島 3 名)

3) 令和 2 年度東北地区大学図書館協議会合同研修会

日 時：令和 3 年 8 月 3 1 日(火) 1 3 : 3 0 : ~
1 6 : 0 0

会 場：オンライン形式

テーマ：学生目線での図書館改革

内 容：基調講演：『学生に寄り添う大学図書館に』
講 師：川崎 安子 氏(武庫川女子大学附属図書
館 次長)

受講者：6 0 名

(内訳：国立大学 2 4 名、公立大学 1 0 名、
私立大学 2 6 名、青森 1 0 名、岩
手 6 名、宮城 2 1 名、秋田 7 名、
山形 9 名、福島 7 名)

2. 協議会誌の刊行

令和 3 年 5 月付で『東北地区大学図書館協議会誌』第
7 2 号を刊行し、令和 3 年 5 月に加盟館及び国立国
会図書館等関係機関に配付した。

3. 加盟館数(令和 3 年 5 月現在)

6 3 館(国立 1 5 館、公立 1 2 館、私立 3 6 館)

4. その他

加盟館の下記の状況について、協議会ウェブサイト
に掲載した。

- ・新型コロナウイルス感染症に対する加盟館の取
組状況について(令和 2 年 10 月)
- ・令和 3 年 2 月 13 日発生の福島県沖地震の加盟館
の被害・復旧状況について(令和 3 年 5 月)

令和 2 年度 一般報告：国公立大学図書館等の動向

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

1 国公立大学図書館協力委員会 関連

<https://julib.jp/>

1) 令和 2 年度大学図書館シンポジウム

主 催：国公立大学図書館協力委員会、日本図書
館協会大学図書館部会

日 時：令和 3 年 1 月 2 2 日(金) 1 3 : 0 0 ~
1 7 : 0 0

会 場：オンライン形式

テーマ：オンライン授業における図書館の役割

報 告：「大学図書館研究」118 号(2021. 8)

<https://doi.org/10.20722/jcul.2117>

2) 第89回国公私立大学図書館協力委員会

日 時：令和2年11月30日（月）14：00～
15：30

会 場：オンライン会議により実施

出 席：常任幹事館 慶應義塾大学（委員長館）、東京大学、筑波大学、横浜市立大学、大阪市立大学、早稲田大学

委 員 館 京都大学、名古屋大学、東京都立大学、國學院大學、法政大学、佛教大学、名城大学

オブザーバ 文部科学省、国立国会図書館、国立情報学研究所

議 事：1. 報告事項

- (1) 委員長館会務報告
- (2) 「大学図書館研究」編集委員会報告
- (3) 大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ報告
- (4) 大学図書館シンポジウム企画・運営委員会報告
- (5) Webサイト運用チーム報告
- (6) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告
- (7) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告
- (8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (9) 関係機関報告

2. 協議事項

- (1) 令和元（2019）年度決算（案）および監査報告について
- (2) 令和2（2020）年度予算（案）について
- (3) 令和2（2020）年度監事館の選出について
- (4) NII との連携・協力の推進に関する協定書の継続について
- (5) 国立大学図書館協会の大学設置基準改正試案について

3) 第90回国公私立大学図書館協力委員会

日 時：令和3年7月16日（金）14：00～
15：45

会 場：オンライン会議により実施

出 席：常任幹事館 慶應義塾大学（委員長館）、東京大学、筑波大学、横浜市立大学、大阪市立大学、早稲田大学

委 員 館 京都大学、名古屋大学、東京都立大学、西南学院大学、成蹊大学、松山大学、國學院大學

オブザーバ 文部科学省、国立国会図書館、国立情報学研究所

議 事：1. 報告事項 ※第89回と同様につき省略

2. 協議事項

- (1) 専門委員会主査について
- (2) 改正著作権法第31条の運用等に係る課題（案）について
- (3) 次期委員長館の選出について

3. 懇談事項

- (1) 図書館におけるカビ対策

議事録：<https://julib.jp/docs/minutes>

2 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議 関連

<https://contents.nii.ac.jp/cpc>

1) 第21回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和3年2月22日（月）15：00～
17：00

会 場：オンライン会議により実施

出 席：筑波大学、東京大学、横浜市立大学、大阪市立大学、慶應義塾大学、早稲田大学、国立情報学研究所

議 事：1. トピック・レクチャー『これからの学術情報共有プラットフォーム「中央システム」の将来像』（佛教大学図書館専門員 飯野 勝則）

2. 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について

3. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

4. オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について

5. 国立情報学研究所の学術コンテンツ事業について

6. 国立情報学研究所教育研修事業について

7. 国公私立大学図書館協力委員会の最近の動向について

8. 『大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所と国公私立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書』の更新について

9. 会議資料等の国立情報学研究所機関リポジトリ（仮称）への登録について

2) 第22回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和3年7月5日（月）15：00～
17：00

会 場：オンライン会議により実施

出 席：筑波大学，東京大学，横浜市立大学，大阪
市立大学，慶應義塾大学，早稲田大学，国
立情報学研究所

- 議 事：1. トピック・レクチャー『研究データボ
リシー策定に至る検討体制（組織）に
ついて一名古屋大学の場合』(国立情
報学研究所 学術基盤推進部次長 竹
谷 喜美江)
2. 図書館システム・ネットワーク運営協
会（仮称）の設立について
3. 大学図書館コンソーシアム連合（J U
S T I C E）の活動について
4. これからの学術情報システム構築検討
委員会の活動について
5. オープンアクセスリポジトリ推進協会
（J P C O A R）の活動について
6. 国立情報学研究所の学術コンテンツ事
業について
7. 国公立大学図書館協力委員会の最近
の動向について

議事録：<https://contents.nii.ac.jp/cpc/documents>

3) 2020年度大学図書館コンソーシアム連合（J U S
T I C E）総会

<https://www.nii.ac.jp/content/justice/>

日 時：令和3年3月5日（金）13：30～
15：30

会 場：オンライン会議により実施

- 議 事：1. 報告事項
- (1) 2020年度の活動について
2. 審議事項
- (1) 2020年度総会の取り扱いについて
- (2) 2020年度の決算について
- (3) 2021年度の活動について
- (4) 2021年度の予算について
- (5) 2021年度の会費規程の特例措
置について
- (6) 2021年度の運営委員会委員に
ついて

会議資料・議事録：会員館限定ページに掲載

4) これからの学術情報システム構築検討委員会

<https://contents.nii.ac.jp/korekara>

第27回（令和2年9月14日），第28回（令和3
年1月25日），第29回（令和3年6月18日）に
委員会を開催

会議資料・議事録：

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/about/document>

5) 2020年度オープンアクセスリポジトリ推進協会
（J P C O A R）総会

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

日 時：令和3年3月17日（水）13：30～
15：15

会 場：オンライン会議により実施

議 事：1. 審議事項

- (1) 2021年度会長選出について
- (2) 2021年度監事選出について
- (3) 2021年度運営委員会委員について
- (4) 改正会費規程の2021年度特例
措置について
- (5) 2021年度活動計画について
- (6) 2021年度予算について

2. 報告事項

- (1) 2020年度活動について
- (2) 2020年度決算について
- (3) 次期 JAIRO Cloud（WEK03）への移
行について

会議資料・議事録：

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/44>

3 令和2年度国立情報学研究所（N I I）研修事業

<https://contents.nii.ac.jp/hrd>

1) 専門研修

- (1) 情報処理技術セミナー

2) 総合研修

- (1) 大学図書館員のための IT 総合研修
- なお、目録システム書誌作成研修および大学図書館
職員短期研修は開催中止

4 国立国会図書館 関連

- 1) 令和2年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
令和2年度は開催見送り

5 最近のトピックス

- 1) 第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf>
「第6期科学技術・イノベーション基本計画」p.58-60より

（2）新たな研究システムの構築（オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進）

- ・我が国においては、ネットワーク、機関リポジトリ、データプラットフォーム、計算資源等の研究基盤や各種ガイドライン等の制度環境の整備が行われてきた。特に公的資金により得られた研究データの管理・利活用については、大半の大学において機関リポジトリが整備されてきたが、その一方で研究データの収載が進んでいないことや、データポリシーが未整備であるといった課題がある。一部の先行的なプログラムでは、研究データの幅広い利活用を促進するため、そのメタデータを集約し、検索・閲覧可能とするための取組が行われているが、研究データの管理・利活用に向けた取組は道半ばである。さらに、研究データの帰属や、個人情報の取扱いなど、研究データに関する法的・制度的な諸問題もある。
- ・このため、まず、データの共有・利活用については、研究の現場において、高品質な研究データが取得され、これら研究データの横断的検索を可能にするプラットフォームの下で、自由な研究と多様性を尊重しつつ、オープン・アンド・クローズ戦略に基づいた研究データの管理・利活用を進める環境を整備する。
- ・研究データの管理・利活用のための我が国の中核的なプラットフォームとして2020年度に本格運用を開始した研究データ基盤システム(NII Research Data Cloud)の普及・広報と必要な改良を引き続き進める。また、公的資金により得られた研究データについて、産学官における幅広い利活用を図るため、2023年度までに体系的なメタデータの付与を進め、同年度以降、研究データ基盤システム上でこれらのメタデータを検索可能な体制を構築する。
- ・公的資金により得られた研究データの機関における管理・利活用を図るため、大学、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人等の研究開発を行う機関は、データポリシーの策定を行うとともに、機関リポジトリへの研究データの収載を進める。あわせて、研究データ基盤システム上で検索可能とするため、研究データへのメタデータの付与を進める。
- ・研究者の研究データ管理・利活用を促進するため、例えば、データ・キュレーター、図書館職員、URA、研究の第一線から退いたシニア人材、企業等において研究関連業務に携わってきた人材、自らの研究活動に資する場合にはポストドク等の参画や、図書館のデジタル転換等の取組について、2022年度までにその方向性を定める。

- 2) 著作権法の一部を改正する法律（令和3年5月26日成立、令和3年6月2日公布）
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/r03_hokaisei/

【基本的な考え方】

- ・図書館関係の権利制限規定については、従来から課題が指摘されていたところ、今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う図書館の休館等によって、インターネットを通じた図書館資料へのアクセスに係るニーズが顕在化。民間事業者によるビジネスを阻害しないように十分注意しつつ、デジタル・ネットワーク技術を活用した国民の情報アクセスを充実させる必要。

【改正の概要】

- ①国立国会図書館による絶版等資料のインターネット送信
- ・国立国会図書館が、絶版等資料のデータを、図書館等だけでなく、直接利用者に対しても送信できるようにする。
- ②各図書館等による図書館資料のメール送信等
- ・図書館等が、現行の複写サービスに加え一定の条件の下、調査研究目的で、著作物の一部分をメールなどで送信できるようにする。その際、図書館等の設置者が権利者に補償金を支払うことを求める。

【施行期日】

- ①公布日から一年を超えない範囲内で政令で定める日
- ③公布日から二年を超えない範囲内で政令で定める日

- 3) 「我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）」（令和3年2月12日公開）
https://www.mext.go.jp/content/20210212-mxt_jyohoka01-000012731_1.pdf
「我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）」p.6～7より

<本検討部会として要請する具体的取組>

【大学等研究機関（執行部）】

- ・関連データを収集した上で、各自の研究戦略に基づき、最適な契約形態を定め、契約内容・経費配分を組み換えること。
- ・各自の最適な契約形態等を定めた上で、同程度の規模や契約状況等の大学等研究機関を契約主体としてグループ化し、交渉主体を明確にする取組の検討を開始すること。
- ・各機関が契約しているジャーナル等の情報を共有し、足りない部分を補いあえるような有機的なネットワークを構築することについて検討すること。

【大学等研究機関（図書館等の学術情報流通部門）】

- ・関連データを収集、分析し、その結果を執行部と共有すること。

- ・ APC 支出額等、図書館だけでは収集が困難なデータについても、関係各部署と連携し、収集すること。
- ・ 自機関の執行部のみならず、所属する研究者等へも現在の自機関の状況等に係る情報提供、説明を積極的かつ丁寧に行うこと。

【大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）】

- ・ これまで蓄積してきた出版社との交渉経験を活かし、契約主体のグループ化を検討している大学等研究機関との役割分担を含む戦略を明示すること。
- ・ これまで以上に JUSTICE で収集した情報を参加機関間で共有すること。
- ・ JUSTICE の今後の立ち位置を明確化し、かつ機能強化するために何が必要であるのか検討すること。
- ・ 出版社との交渉・契約内容が秘匿されていることを透明化すべく努力すること。

【文部科学省】

- ・ 各大学等研究機関における APC 支出額の実態調査を実施し、状況を把握するとともに、その結果を共有すること。
- ・ 大学等研究機関の取り組み及び状況等を把握し、バックファイルへのアクセス維持、セーフティネットの構築等の在り方も含め適切な支援を行うこと。

4) 「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」

- ・ 日本学術会議提言「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」（令和2年9月28日公開）

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t297-6.pdf>

「学術情報流通の大変革時代に向けた学術情報環境の再構築と国際競争力強化」p.4-5 より

(2) 一括契約による学術情報ジャーナル購読問題の解決

- ・ 我が国全体で高額な総契約料を支払っている現状を打破して、経済合理性の高い一括契約に部分的にでも移行する必要がある。商業出版社との APC 定額制を含む一括契約を担当し、予算を管理するためには、参画した大学等の組織から電子ジャーナル購読費用と APC 経費相当の資金を集めて管理する組織が新たに必要になる。
- ・ この APC 定額制を含む一括契約を我が国で実現するためには、幾つかの克服すべき課題が存在する。第1の問題は全国の各大学における電子ジャーナルの利用形態と個別契約額の違いである。一口に大学図書館と言っても、大学の規模や性格、専門分野が大幅に異なり、図書館機能も電子ジャーナルの必要性や用途も大きく異なっており、多様な大学図書館が足並みをそろえて一括契約に移行するには非常に大きな困難が伴う。電子ジャーナル契約が高額で、多額の APC 経費を支払っ

ており、組織の特徴が類似している機関群、例えば旧帝大系7大学や研究大学（RU11）、国立研究開発法人などのグループが中心となって部分的に一括契約を始め、これを核として順次参加大学と研究機関を拡大する方法が現実的である。

- ・ 第2の問題は交渉母体と長期に交渉を担当する専門家の不在であり、新法人組織を設立して一元的に交渉・契約管理を行う必要がある。また、JUSTICE の長い経験を繰り込んで交渉を始めることが必要であるが、長期間にわたって継続的に契約交渉を行う専門家を配置する必要がある。
- ・ 第3の問題は負担費用の適正配分である。現在、電子ジャーナル購読に各大学が支払っている購読料相当分については、一括契約により現在よりも契約額を抑えることができるが、研究者が研究費の直接経費から支払っている各機関の APC 経費について、どのような形で研究者から徴収するかは、各大学の事情により異なる可能性が高い。したがって、補助金等の間接経費にこの出版経費（情報公開費）を含むように規程を改定し、情報公開費をまとめてこの新法人組織に予算措置することにより、APC 経費の研究費（直接経費）への圧力を低下させることが望ましい。また一括契約が広がった時点で、図書購読費相当額を一括してこの法人組織に交付することが望ましい。最後に、政府、競争的資金管理法、教育研究機関、学協会などの学術コミュニティが OA 化を進めるための OA ポリシーを策定・実行するとともに、科学者へのリテラシー教育を徹底する必要がある。

国立大学部会関係

（幹事館：東北大学附属図書館）

1. 国立大学図書館協会 関連

<https://www.janul.jp/>

1) 第68回国立大学図書館協会総会

日 程：令和3年6月25日（金）10：00～16：20

場 所：オンライン会議（投票）により実施（当番館：京都大学附属図書館）

議 事：1. 研究集会

テーマ：国立大学図書館協会ビジョン2020から2025へ一振り返りと展望一

2. 報告事項

- (1) 一般経過報告
- (2) 委員会活動報告

3. 協議事項

- (1) 令和3年度理事・監事の選出について
- (2) 令和2年度決算報告・同監査報告について
- (3) 令和2年度記念基金決算報告・同監査報告について

- (4) 次期ビジョンについて
 - (5) 次期ビジョンにおける委員会の構成について
 - (6) 令和3年度事業計画（案）について
 - (7) 令和3年度予算（案）について
 - 4. 文部科学省所管事項説明
 - 5. 国立情報学研究所事業説明
 - 6. 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議報告
 - 7. 国立大学図書館協会賞表彰式
- 関連資料：<https://www.janul.jp/ja/operations/general>

2) 令和2年度国立大学図書館協会秋季理事会

日 時：令和2年11月9日（月）14：00～
17：00

場 所：オンライン会議により実施（当番館：九州
大学附属図書館）

議 事：1. 報告事項

- (1) 第67回総会等について
- (2) 各委員会等報告
- (3) 各地区協会報告
- (4) オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画にかかる予算措置について
- (5) 地区協会助成事業について
- (6) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (7) 日本図書館協会関連報告
- (8) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告
- (9) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (10) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告

2. 協議事項

- (1) 現ビジョンの評価・総括について
- (2) 次期ビジョンの策定について
- (3) 各会員館のサービス状況を共有することについて
- (4) 【声明】大学図書館等機関向け電子書籍の拡充に向けて（案）について
- (5) 令和2年度国立大学図書館協会シンポジウムについて
- (6) 令和3年度海外派遣事業について
- (7) 第68回総会の日程について

3) 令和2年度国立大学図書館協会春季理事会

日 時：令和3年5月14日（金）14：00～
17：00

場 所：オンライン会議により実施

議 事：1. 報告事項

- (1) 各委員会等報告
- (2) オープンサイエンスの推進に向けた先導的事業について
- (3) 各地区協会報告
- (4) 地区協会助成事業報告
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告
- (8) これからの学術情報システム構築検討委員会報告
- (9) オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）報告

2. 協議事項

- (1) 現ビジョンに対する評価・総括について
- (2) 次期ビジョンについて
- (3) 次期ビジョンにおける委員会の構成について
- (4) 海外派遣に関する特例措置について
- (5) オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画にかかる予算措置について
- (6) 令和3年度以降の地区協会助成事業の実施について
- (7) 令和2年度決算（案）について
- (8) 令和3年度事業計画（案）について
- (9) 令和3年度予算（案）について
- (10) 関係団体への派遣役員について
- (11) 第68回総会について
- (12) 第69回総会の当番館・日程について

4) 令和3年度国立大学図書館協会第1回理事会

日 時：令和3年6月25日（金）16：30～
17：10

場 所：オンライン会議により実施

議 事：1. 会長・副会長選出

2. 委員会委員長の指名について

3. 理事会付託事項について

4. 今後の日程および開催方法について

5) 現ビジョンの評価・総括及び次期ビジョンの公表

標 題：国立大学図書館協会ビジョン2020 評価・総括および会員館の取組事例

公表日：令和3年6月2日（水）

内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20210602>

標 題：国立大学図書館機能の強化と革新に向けて
～国立大学図書館協会ビジョン2025～
公表日：令和3年6月29日（火）
内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20210629>

6) 報告書の公表

標 題：令和元年度図書館システム及び関連システムに関するアンケート集計結果
作 成：国立大学図書館協会 学術情報システム委員会
これからの学術情報システム検討委員会
公表日：令和2年10月6日（火）
内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20201006>

標 題：オープンサイエンス及び研究データ管理に係る参考となる取組事例
作 成：国立大学図書館協会 オープンアクセス委員会
公表日：令和3年3月26日（金）
内 容：<https://www.janul.jp/ja/news/20210326>

2. 国立大学図書館協会東北地区協会 関連

1) 令和2年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡会議

日 時：令和2年12月21日（月）14：30～16：00

場 所：オンライン会議により実施（当番館：弘前大学附属図書館）

議 事：1. 報告事項

- (1) 令和2年度国立大学図書館協会秋季理事会について
- (2) 令和2年度国立大学図書館協会地区助成事業について
- (3) 図書系専門試験委員会について

2. 承合事項

- (1) with コロナでのラーニングコモンズのあり方について
- (2) 電子ブックの整備状況について

2) 第52回国立大学図書館協会東北地区協会総会

日 時：令和3年4月22日（木）13：30～15：05

場 所：オンライン会議により実施（当番館：弘前大学附属図書館）

議 事：1. 報告事項

- (1) 国立大学図書館協会について
- (2) 科学技術・学術審議会・情報委員会・ジャーナル問題検討部会
「我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）」について

2. 協議事項

- (1) 国立大学図書館協会東北地区協会理事・当番館等について
- (2) 第68回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項について
- (3) 国立大学図書館協会地区助成事業への対応について

3. 承合事項

- (1) 貴重資料等の電子化の状況について
- (2) 研究室で購入する図書の資産登録について

3. その他

1) 第94次国立七大学附属図書館協議会

日 時：令和2年12月4日（金）9：30～11：30

場 所：オンライン会議により実施（当番館：大阪大学附属図書館）

- 議 事：1. コロナ禍における電子ブックについて
2. 新型コロナウイルス対策
3. ジャーナル問題について
4. 授業目的公衆送信補償金制度への対応について

公立大学部会関係

（幹事館：公立大学法人岩手県立大学メディアセンター）

○第52回（令和2年度）公立大学協会図書館協議会総会

期 日：令和3年1月28日（木）～2月3日（水）

形 式：メールによる書面会議

開催館（会長館）：都留文科大学附属図書館

議事

報告事項

- (1) 令和元年度事業報告
- (2) HP委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) 令和3年度 第53回総会等の開催について
- (6) 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の今後の予定について

協議事項

- (1) 役員の選出について
- (2) 関係委員会委員等の推薦について
- (3) 令和元年度決算報告・監査報告
- (4) 令和2年度事業計画（案）について
- (5) 令和2年度予算（案）について
- (6) 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について
- (7) 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について

○第 52 回（令和 2 年度）公立大学協会図書館協議会総会
追加審議

期 日：令和 3 年 2 月 12 日（金）～2 月 18 日（木）

形 式：メールによる書面会議

開催館（会長館）：都留文科大学附属図書館

議事

協議事項

- (1) 関係委員会委員等の推薦について

○第 53 回（令和 3 年度）公立大学協会図書館協議会総会

期 日：令和 3 年 6 月 28 日（月）

形 式：オンライン会議

開催館（会長館）：熊本県立大学学術情報メディアセンター

講演

「公立大学の現状と課題」

一般社団法人公立大学協会 事務局長 中田 晃 氏

議事

報告事項

- (1) 令和 2 年度事業報告
- (2) HP 委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) 各種細則の一部変更について
- (6) 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の現状と計画について
- (7) その他

協議事項

- (1) 公立大学協会図書館協議会入会大学について
- (2) 役員の選出について
- (3) 関係委員会委員等の推薦について
- (4) 令和 2 年度決算報告
- (5) 令和 2 年度監査報告
- (6) 令和 3 年度事業計画（案）について
- (7) 令和 3 年度予算（案）について
- (8) 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について
- (9) 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について
- (10) その他

○ 2021 年度公立短期大学図書館協議会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面回議による開催

期 日：2021 年 8 月～9 月

総会当番館：倉敷市立短期大学付属図書館（会長館）

議事

報告事項

- 1) 2021 年度役員紹介
- 2) 2020 年度事業報告
- 3) 2020 年度決算報告及び監査報告

協議事項

- 1) 2021 年度事業計画（案）及び予算（案）について
- 2) 日本図書館協会代議員の選出について
- 3) 旅費規程について
- 4) 川崎市立看護短期大学図書館の退会について
- 5) 公立短期大学図書館協議会会則第 15 条（地区研究会）について
- 6) 輪番表の改訂について
- 7) 本協議会の繰越金と会費について

その他

- 1) 承合事項
- 2) 2022 年度役員紹介

○ 2021 年度公立短期大学図書館協議会研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

私立大学部会関係

（幹事館：仙台青葉学院短期大学、東北芸術工科大学）

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に

（2020 年 9 月 1 日～2021 年 8 月 31 日）

加盟校 523 校（2020 年 9 月 16 日現在） 東地区部会 270 校

※東北地区加盟校（50 音順） 23 校

石巻専修大学、医療創生大学、奥羽大学、郡山女子大学、柴田学園大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北医科薬科大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、日本大学工学部、ノースアジア大学、八戸学院、八戸工業大学、東日本国際大学・いわき短期大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

（加盟校名称は 2021 年 4 月現在）

○第 81 回（2020 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会

テーマ「大学図書館のコレクション構築を考える」

日 時：2020 年 9 月 10 日（木）～9 月 17 日（木）

方 法：オンライン

総会

1. 報告事項

- ①協会賞（2019 年度審査決定：2020 年度表彰）
- ②研究助成（2019 年度決定：2020 年度助成対象）
- ③ 2019 年度 協会会務報告
- ④ 2019 年度 委員会報告
- ⑤ 2019 年度 協会関連事項報告
- ⑥ 2020 年度 協会役員校、委員会および協会関連団体委員
- ⑦ 2019 年度 ご寄付をいただいた企業

2. 総会議案

- ① 2019 年度 一般会計・特別会計決算報告（案）
- ② 2020 年度 事業計画（案）
- ③ 2020 年度 一般会計・特別会計予算（案）
- ④ 2021 ～ 2022 年度 協会役員校（案）
- ⑤ 2020 年度 新規加盟校および脱退校（案）

研究大会

1. 記念講演

演 題：「利光鶴松の近代 ー小田急電鉄創業者
と私設図書館ー」

講演者：吉田 悦志（明治大学名誉教授・元図書
館長）

2. 講演①

演 題：「シェアードプリント ーあたらしいコ
レクション管理のかたちー」

講演者：村西 明日香（名古屋大学附属図書館）

3. 講演②

演 題：「公共図書館におけるコレクション構築
の考え方」

講演者：嶋田 学（奈良大学文学部教授）

4. 2019 年度海外認定研修報告

日 時：2020 年 9 月 17 日（木）～ 2021 年 3 月
21 日（日）

方 法：動画および資料を加盟館限定 HP で公開

① [ALA・米国]

報告者：伊藤 民雄（実践女子大学図書館）
西 満美（中央大学図書館）

② [アジア・台湾]

報告者：岩田 典子（立命館大学図書館）
高島 豊（獨協大学図書館）
山下 大輔（西南学院大学図書館）

5. 研究助成発表

日 時：2020 年 9 月 17 日（木）～ 2021 年 3 月
21 日（日）

方 法：動画および発表原稿を加盟館限定 HP で
公開

① [2018 年度～ 2019 年度]

テーマ：「インターネット時代の読書推進シス
テム構築に関する研究」

発表者：喜多村 侑佳（福山大学附属図書館）

② [2019 年度]

テーマ：「図書館学生協働活動の活性化と図書
館利用の量的・質的影響ー広がり深
める学習環境づくりー」

発表者：小松 真理（広島都市学園大学附属図
書館）

○ 2021 年度私立大学図書館協会東地区部会総会

日 時：2021 年 6 月 11 日（金）～ 2021 年 6 月 17 日（木）

主 催：成蹊大学

形 式：e-mail と Web 入力フォームを活用した個別

回答方式

I. 協議事項

(1) 報告事項

- ① 2020 年度 東地区部会報告
- ② 2020 年度 協会関係報告
- ③ 2021 年度 協会役員校、委員会及び協会関
連団体等委員

(2) 協議事項

- ① 2020 年度 東地区部会事業報告
- ② 2020 年度 東地区部会決算報告及び監査報告
- ③ 2020 年度 東地区部会研究部決算報告及び
監査報告
- ④ 2021 年度 東地区部会事業計画（案）及び
予算（案）
- ⑤ 2021 年度 東地区部会研究部活動計画（案）
及び予算（案）

II. 館長会

中止

III. 研究講演会

テーマ：創造的な学修に向けた大学図書館の役割に
ついて

日時：6 月 5 日（土）

方法：オンライン・オンデマンド形式併用

録画映像公開期間：6 月 11 日（金）～ 6 月 17 日（木）

講演①

演 題：「高等教育・学術的観点（「学修の共同性
と社会性」「デザイン」）からの提起」

講演者：美馬 のゆり氏（公立はこだて未来大学
教授）

講演②

演 題：「海外（図書館）「次世代ラーニングコモ
ンズ」における創造的学修事例」

講演者：増井 尊久氏（丸善雄松堂株式会社
Research & Innovation 本部事業開発部
企画開発担当課長）

講演③

演 題：「（未来の大学図書館利用者を輩出する）
中等教育現場（図書館）からの創造的学
修事例」

講演者：有山裕美子氏（元・工学院大学附属中学
校・高等学校司書教諭、現・軽井沢風越
学園教諭）

令和2年度 研修部会 活動報告

1. 研修部会名簿 任期：2019年9月1日～2021年8月31日

部会	所 属	職 名	氏 名	
国立	秋田大学附属図書館	主 査	杉山 禎広	〔主査〕
国立	東北大学附属図書館工学分館	主 任	上村 法子	〔庶務幹事〕
公立	岩手県立大学メディアセンター	図書事務員	木村 祐子	
私立	八戸工業大学図書館	臨時職員	正部家 真由	
私立	東北学院大学図書館	課長補佐	小山 純 佐々木 篤	(～2021年3月) (2021年4月～)

2. 研修部会開催状況

2-1. 第1回研修部会（キックオフミーティング）

日 時：2020年7月29日（水）10：30～11：10

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、上村法子（東北大）、木村祐子（岩手県立大）、正部家真由（八戸工業大）、小山純（東北学院大）

陪 席：細川聖二、田口秀樹（協議会事務局：東北大）

概 要：委員の確認、主査・庶務幹事の決定。フレッシュパーソンセミナーの開催、大学図書館職員初任者マニュアルの改訂等について話し合った。

2-2. 第2回研修部会

日 時：2021年6月15日（火）15：30～16：30

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、上村法子（東北大）、木村祐子（岩手県立大）、正部家真由（八戸工業大）、佐々木篤（東北学院大）

陪 席：細川聖二、田口秀樹（協議会事務局：東北大）

概 要：フレッシュパーソンセミナーについて、プログラムの概要を決定し、実施までに必要な作業について確認した。

2-3. 第3回研修部会

日 時：2021年8月20日（金）13：30～15：30

会 場：オンライン（Zoom）

出席者：杉山禎広（秋田大）、上村法子（東北大）、木村祐子（岩手県立大）、正部家真由（八戸工業大）

陪 席：細川聖二、田口秀樹（協議会事務局：東北大）

概 要：直前に迫ったフレッシュパーソンセミナーについて、各自の当日の動き、Zoom機能の確認、講師との顔合わせを行った。

3. 研修開催状況

研修名：2021年東北地区大学図書館協議会フレッシュパーソンセミナー

概 要：19～24ページ参照

2021 年東北地区大学図書館協議会 フレッシュパーソンセミナー開催要項

1. 趣 旨

東北地区の大学図書館に勤務している職員が、所属機関や雇用形態の違いに左右されず図書館職員としての基本的な知識と教養を身につけるとともに、東北地区内の職員と交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。

2. 対象者

東北地区大学図書館協議会に加盟している大学の図書館に勤務し、図書館業務の基本的知識の習得を希望するもの（50 名程度）

3. 開催時期

2021 年 8 月 26 日（木） 10 時 00 分～15 時 30 分

4. 開催場所

オンライン（Zoom）

5. 主 催

東北地区大学図書館協議会

6. 企 画

東北地区大学図書館協議会研修部会、同協議会幹事館

7. 開催プログラム

右記のとおり

	時 間	内 容
開 会	10:00 ～ 10:10	開会・事務連絡
基本編	10:10 ～ 11:00	大学図書館概論 東北学院大学図書館長 文学部歴史学科教授 佐藤 義則
	休憩	
	11:10 ～ 12:00	大学図書館業務【基本編】 (1) 利用者サービス 東北学院大学図書館 図書情報課 佐々木 篤 (2) 図書目録 東北大学附属図書館 情報管理課 図書情報係 小野寺 毅 (3) 雑誌業務 東北大学附属図書館 情報管理課 雑誌情報係 菅原 真紀
休 憩	12:00 ～ 13:00	
基本編	13:00 ～ 13:15	大学図書館業務【基本編】 (4) ILL 業務 東北大学附属図書館 工学分館 整理・運用係 上村 法子
発展編	13:20 ～ 14:00	大学図書館業務【発展編】 (1) コロナ対応関係 秋田大学附属図書館 学術情報資源担当 杉山 禎広 (2) 電子書籍 丸善雄松堂株式会社 学術情報ソリューション事業部 川口 達也
	休 憩	
G W	14:10 ～ 15:20	グループワーク（1 グループ 4-5 名） テーマ「これからの図書館に必要とされるもの（こと）」 ※最後の全体発表はありません。 ・自己紹介 ・グループ内で意見交換
閉 会	15:20 ～ 15:30	閉会・事務連絡

当日記録



セミナー開始



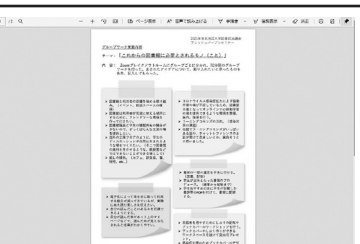
講義：東北学院大学 佐藤義則図書館長



講義：【基本編】利用者サービス



グループワーク



グループワーク成果



東北地区大学図書館協議会ホームページ
<http://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/>

受講者アンケート結果（抜粋）

回答者数：22 名

1. 開催時期について

a	適当である	20	
b	別の時期がよい	2	「6月上旬」「7～8月」

2. セミナーの日程について

a	適当である（1 日程度）	18	
b	1 日半～2 日間程度がよい	0	
c	半日がよい	4	
d	その他	0	

3. セミナーの内容について

1) 大学図書館概論

- ・大学図書館の置かれている現状が統計を基に分かりやすく示されていた。
- ・図書館の設置基準や現状、課題等について理解することができた。特に、近年は専門知識を有する専任職員が減少していることから、長期的な図書館運営及び図書館サービスの質向上を確保できなくなる可能性があるという点は、解決すべき喫緊の課題だと感じた。
- ・海外の文献からも情報を提供していただき参考になりました。
- ・データベース関連・電子ジャーナルへの移行の多さにグラフで視覚化されることで驚きました。
- ・著作権とデジタル化のバランスの難しさを窺い知ることができました。
- ・今の図書館業界の動向を知ることができました。
- ・自分が働く図書館とはどのような施設であるのか、またどのような状況にあるのか、改めて考える機会となりました。
- ・時代に合わせて図書館は変わっていかなければならないと感じました。
- ・私共ではどうしても出来ないですが職員の雇用形態の変遷に悲しいものを感じました。

2) 基本編：利用者サービス

- ・貸出、複写の法的根拠を改めて確認させていただきました。
- ・著作権について復習しようと心を改めるきっかけになりました。
- ・コピー機の利用サービスについて、勉強になりました。
- ・図書館と著作権は切っても切れない関係だと改めて感じました。何気なく行われている貸出・複写の基本を学ぶことができ、大変参考になりました。
- ・著作権法に準じた貸出や複写の規制について学ぶことができた。今後の利用者への説明に役立てたいと感じた。
- ・図書館ルールの根拠について、分かりやすく教えていただきありがとうございました。図書館に詳しくない方には「どうしてダメなの？」となってしまう図書館のルー

ルが意外と沢山あることに気づきました。学生さんや先生方から質問を受けたら、今回のお話を思い出して説明したいと思います。

- ・利用者からの質問に基づく項目にしぼられていて良かったです。
- ・実務に即した研修は、とても役立つものだった。著作権の根拠にも触れられ、当たり前の本を貸出しているが、その行為に根拠があることを再認識した。
- ・内容はもとより音声も聞き取りやすかったです。
- ・よく先生方との間で、著作権の事でコピーや貸し出しに制限があることが問題視されていましたので、説明の仕方をわかりやすく変えていきたいと思いました。

3) 基本編：図書目録

- ・書誌情報と所蔵情報の説明がわかりやすかったです。
- ・目録は「図書館員らしい」と思う業務の1つなので、いつか担当してみたいです。
- ・目録業務を担当しておらず、書誌や所蔵に関わることが無かったため、言葉だけ知っていた部分の内容を知ることができ勉強になりました。FRBR などまだ慣れない言葉が多くありましたので勉強が必要であると感じました。
- ・「ただ本を買って配架する」のでは駄目で、書誌情報と所蔵情報が登録されてやっと利用できる、という本の購入から配架までの流れをつかむことが出来た講義でした。大変参考になりました。
- ・図書業務で何気なく書誌をダウンロードして選定や発注等に取り組んでいたため、目録の管理方法や種類について初めて知ることができ良かった。
- ・これまで目録担当になったことが無く、大まかにしか業務内容を把握していなかったのですが、今回のご説明により、具体的に図書目録のしくみを理解することができました。ありがとうございました。
- ・目録に関しては一番知識が浅いため、充実した講習でした。大学図書館スタッフにとっても利用者にとって大事な業務だと感じました。
- ・書誌の並立が増える大変だと思いましたが同定する技術が磨かれてよいのかもしれない。
- ・NACSIS-CAT/ILL システムが変わる！などの、これからの情報も取り入れながらの講話は、時代の流れを感じた。知識を増やしていきたいと思った。
- ・丁度、図書の受け入れを教わったばかりでしたので、さらに理解を深めることができました。

4) 基本編：雑誌業務

- ・普段関わることのない業務であったため、流れについて理解できました。業務が多岐に渡ることにも勉強させていただきました。
- ・資料がわかりやすかったです。

- ・雑誌はまだ担当したことがありませんが、図書館で最も比重のある EJ を扱うという点でやりがいがありそうだと感じました。
- ・受入などの物理的な処理がない電子媒体の良い部分が理解できました。
- ・雑誌は、将来的にはほぼ全て電子化されるであろうと思いました。
- ・雑誌というとファッション雑誌や週刊誌を思い浮かべますが、学術的な雑誌があるということは大学図書館へ配属されて初めて知ったことの一つでした。さらに、雑誌にも冊子体だけではなく電子的な形態があることも驚いたことの一つです。電子ジャーナルは導入して終わり、ではなくアクセス数などを分析することは今後の契約を考えていく上でとても重要な要素になるのだなと思いました。
- ・雑誌業務の基本的な流れを理解するとともに、資料の電子化に伴う契約形態の変化や電子ジャーナルの需要が高まっていることが分かった。
- ・JUSTICE の役割と大学図書館の関係が良くわかりました。
- ・稚拙な感想ですが、とある雑誌が図書館で利用可能になるまでに大変多くの行程を経ていること、さらに利用可能になったらそこで終わりという訳ではないことに驚きました。公共図書館等と異なる、大学図書館として特徴的な業務なのではないかと感じています。
- ・契約が大変そうですが、電子ジャーナルはコロナ禍で大活躍だと思うので今後さらに重要な業務だと感じました。
- ・実務に即した研修で、自分が担当していない業務だが、担当の方の業務が分かりました。支払い方法など、流れを知ることができ、知識が増えました。

5) 基本編：ILL 業務

- ・具体例をもって説明いただき、流れがわかりやすかったです。
- ・電子ジャーナルや OA により ILL の利用が減少していることを初めて知りました。ILL 無料化について調べます。
- ・システム構成によっては連携範囲拡充可能な、素晴らしいサービスであると思いました。
- ・公共図書館で利用していた他図書館から本を取り寄せするのと同じで、本を図書館同士で貸借したり、必要な論文だけを取り寄せたりすることが出来るのは図書館に配属された当初、とても便利な機能だなと感じていました。
- ・ILL 業務については名前しか知らなかったが、今回の研修を通じて ILL の仕組みや依頼から受付の流れが分かり、普段図書館で行われている ILL が利用者に役立っていることが理解できた。
- ・ILL 業務担当者です。改めて自分の業務を見つめなおすきっかけになりました。ありがとうございました。これまで EJ 複写可能館を検索することに結構な時間を割い

ていましたので、ご紹介いただいた管理表をぜひ取り入れてみたいと思っています。

- ・電子ジャーナルの複写について全く知らなかったので、勉強することができてよかったと思いました。
- ・どこまで必要かという利用者とのコミュニケーションが大事という点が勉強になりました。
- ・実務に即した研修で、自分が担当していない業務だが、担当の方の業務が分かりました。利用者の視点に立ったサービスを意識しているところ、素晴らしいと思いました。気づくことが、たくさんありました。
- ・自分の中で不明だった点も解消されたので大変参考になりました。

6) 発展編：コロナ対応関係

- ・徹底したコロナ対応が素晴らしいと思いました。座席ごとの消毒ボトルが特にいいです。
- ・自館以外の、工夫されている取り組みを知ることができ、大変勉強になりました。
- ・貸出・返却機能を利用して入館の管理を行うというアイデアが、とても斬新でした。
- ・図書館によって取り組み方が様々なんだと思いました。完璧な対応に驚きました。
- ・昨年度からどの図書館でも必須になったコロナ対策について、アンケートやネットで調べることはあっても、実際にどのようなことに苦労したかや、取り入れてよかったものを聞く機会はなかなかありませんでした。今回の講義で、共感したことや、ぜひ導入したいと感じたものも多く、大変参考になりました。
- ・コロナが拡大している中でも、利用者が利用しやすく、かつ、感染リスクを抑えるような取り組みがなされていて素晴らしいと感じた。
- ・グループワークでも話題になったのですが、コロナ対策が不要になること願うばかりです。
- ・感染防止のために行なっている換気に関して、カビの発生や虫の侵入は私が勤める大学でも起きていることだったので、対策をぜひ試してみたいと思いました。
- ・秋田大学の取り組みを知り、刺激になりました。係内で早速情報を共有しました。
- ・秋田大学の例で、湿気対策や、入館の際の消毒液のお渡しなど、なるほどと思う対策が たくさんありました。

7) 発展編：電子書籍

- ・これからは電子書籍の時代になっていくんだなと思いました。
- ・電子書籍について、多くの情報を要点に絞ってお伝えいただき、大変勉強になりました。
- ・理系の学術書の電子化により力を入れていただけると、さらに多くの学生に利用してもらえんと思います。

- ・昨今の状況下で、自宅での学習に大変便利だと感じました。
- ・電子書籍はほぼ利用していなかったので、サービス発展状況に驚きました。
- ・いちいち図書館へ行かなくても、アクセスさえ可能であれば、実際に図書を手に取っている感覚で使いたい資料を見つけることができるのはとても便利だなと思いました。また、MeI のさまざまな機能を見て、私も使ってみたい！と思いました。大変参考になりました。
- ・業務の中では電子ブックの購入しかしていなかったため、「文庫・新書サブスクリプション」やLMSと電子書籍の連携等、電子書籍の新たな形態や推進方法を知ることができて良かった。
- ・今回の講習のように利用方法やメリットなどを利用者に分かりやすく教えることができようになりたいと思いました。
- ・PDFで保存できるのはとても便利です。コロナ下においてこれから重要な役割を果たすと思いました。
- ・進化に驚きました。図書選定の下調べをしていて、電子書籍の有無を確認をしていましたが、機能など利用者の見ている画面を見ることができて、衝撃を受けました。
- ・コロナによって利用が進み、今後も求められるサービスだと感じました。

8) グループワーク（感想）

- ・他の大学の方と色々なお話ができて楽しかったです。それ以上に勉強になりました。
- ・自館以外の図書館で勤務する方とお話する機会がないため、交流する機会をいただき、ありがとうございます。また、グループの皆様のアイデアや知識により、大変勉強になりました。
- ・zoomでのグループワークは不安でしたが、進行役の方のおかげで大変スムーズに、楽しく意見交換を行うことができました。機会を設けてくださりありがとうございます。
- ・自分では思いつかないアイデアをたくさんもらえて、有意義な時間でした。
- ・他大学図書館の皆様のお話を伺い、同じような問題を抱えていることがわかり安心するとともに、連携して解決していくことができる希望を感じました。それぞれの図書館の様子を教えていただくことができて貴重な機会でした。
- ・とても楽しかったです。お互い情報交換ができて、今後の課題につながります。
- ・国内全国旅行制覇や、小説投稿されているお話が聞けて、エネルギーを頂けました。
- ・オンラインミーティングはリアルより苦手なため、発言内容をうまく整理出来なかったことが悔やまれます。

テーマ「これからの図書館」、想像すること・皆さまのアイデア拝聴、とても楽しかったです。

- ・オンラインでグループワークを行うのは初めての経験でした。一緒にグループになった皆さんの、私には無い視点や考えを聞いて、また、自分の意見を自由に話すことが出来て、とても和やかで楽しいグループワークでした。自己紹介からグループワークまで、進行の方や研修部会の方がサクサクと進めてくださって、一緒にグループになった皆さんと、いつか対面でもお会いしたいなと思いました。貴重な体験になりました。ありがとうございました。
- ・他大学の図書館での取り組みや事例を共有することができたため、今後の図書館運営に役立てたいという意識が強まった。
- ・4名のグループでしたが、時間としては妥当だと思います。その中で知り合えた縁を大事にして、この後も交流ができたと思います。
- ・人前で話をすることが苦手で、グループワークが大変不安でしたが、皆様やさしい方ばかりでよかったです。研修部会の方にサポートで入っていただいたことも大変助かりました。また、経験年数や職場、担当の異なる様々な方の意見を聞くことができ、大変刺激になりました。ありがとうございました。
- ・進行役としてグループワークに参加しました。コロナ禍で他大学の図書館スタッフとの交流が乏しかったため、このような機会を設けて頂いて大変感謝しています。さらに今後の図書館に必要なモノ（こと）について、貴重なアイデアを共有できて、とても充実したお時間でした。
- ・皆様のご意見がたいへん参考になりました。コロナでも図書館を活用してもらいたいという気持ちや工夫を共有でき、心強かったです。
- ・他大学の方とお話できたことは、元気になりました。グループワーク終了後、コロナ禍で、人とのつながりがなくなっていたことを実感しました。
- ・ファシリテーターの方もいらっしゃったので円滑に進みました。
- ・はじめてのZoomという事もありハードルがかなり高く感じましたが他館でのいろいろな取り組みを聞くことができ大変参考になりました。
- ・日頃悩んでいる事や、他大学のコロナ禍でできることの対策を話すことができました。
- ・せっかくたくさんの方が集まっているので、時間があればグループ入れ替えなど多くの人と交流できれば面白いと感じました。
- ・リモートでのグループワークはとても難しかった。

4. グループワークで出たアイデアで取り入れたいと思ったもの
 - ・図書館と利用者の距離を埋める取り組み（イベント、歓談スペースの確保）。
 - ・図書館主導で謎解きゲームをするのはどうか。書架にある本がヒントになっている（利用者に本を手にとってもらえる）。図書館にこんな本がある、という気づきがあると面白い。
 - ・海外の企業フロアのように、学生のディスカッションが自然に生まれるような場をつくりたい（そこで図書館の資料を生かせるような、教室などではできないことができる場として）。
 - ・ラーニングコモンズの活用（感染対策の課題）。
 - ・電子化によって本を手にとって利用する機会が減ってきているが、実際に本を読む楽しさを伝えたい。
 - ・学生が主体となった書架のプロデュース（選書から配架まで）。
 - ・読んだ本がネット上のマイページなどで、読んだ本が見える化されると成果がわかりやすい。
 - ・ブックカバーやしおり作りができるワークスペースを設けて貸出時プレゼント。
 - ・一定数貸出した方にガチャガチャ（花の種、おすすめの本の紹介）を引いてもらう。
 - ・館内の様子を動画で紹介したり、VRで体験できると楽しいと思いました。
 - ・HPで公開する展示リストを、書名だけではなく表紙を載せてオンライン展示のようにする。
 - ・他大学と連携した展示企画。
 - ・図書館主体となってオンラインでの協働学習の場を提供できるような環境を整備、案内、指導を行う。
 - ・癒しの提供（カフェ、飲食店、猫、植物 etc...）。
 - ・SNSやYouTubeの活用。
 - ・チャットレファレンス。
 - ・図書修理セットを置いて自由に私物の本などを修理してもらう。
 - ・消毒液を人目につきやすいデザイン（かわいく、カモノハシなど）にして利用を促す。
 - ・「リボジトリ」や「レファレンス」など、図書館の勉強をした人でないと通用しない用語をやさしい言葉で置き換えて表示する。

5. セミナーで今後取り上げてほしいテーマ

- ・自分の理想な図書館
- ・他館で何かを試みて成功したお話や、失敗したお話が聞けてデータとして共有できたらうれしいと思いました。
- ・概念であれ技術であれ、常に図書館業界の先端・最先端を紹介することは大事だと思います。
- ・今回のように、各大学図書館のコロナ対応の取り組みや工夫、事例を紹介してほしいです
- ・小規模大学、短大でできる展示の仕方。

6. セミナー全体に関する意見

- このご時世で日頃の業務もご多忙の中、このように工夫した研修を開催していただき誠にありがとうございました。経験が浅い中、大変貴重な機会となりました。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。
- 初心者向けに基礎を丁寧に説明していただき、入職後 1-2 年目程度の職員には特に助けになるセミナーだったと思います。
- 他大学の皆様や講師の皆様のお話を聞くことができる貴重な機会をありがとうございました。まだ難しいと感じる内容も少しありましたので、受講者・講師ともにフレッシュパーソンのみで開催されるものがあれば、より新任の方同士の学び合いの会になり面白いかもしれないと感じました。
- ありがとうございました。
- 初めてのセミナーで参加できてとてもうれしかったです。知りたい知識をまとめて教えて頂けるのはとてもうれしいことでした。ありがとうございました。
- 基本から発展について学びを深めたり、実際に自分で考えて発言してみたりと、飽きがこずとても勉強になるセミナーでした。全体を通して大変参考になるセミナーでした。ありがとうございました。
- 一方、図書館員としての基礎知識を提供し、他大学の方と交流をする機会も提供することも大事だと思いますので、今回のようなプログラムで良いと思います。
- 研修の機会を設けていただきありがとうございました。今回、Zoom の操作方法などを事前にご案内いただいたので、操作の部分では不安なく受講することができたことが印象的でした。
- たいへんな状況の中、オンラインで開催してくださり研修部会の皆様ありがとうございました。今後もセミナーが続いていくことを願っております。
- フレッシュパーソンセミナーではありましたが、他大学で経験がある方がほとんどでした。自分の場合、20 年以上一般企業で働いていて、本当の初心者でしたので、経験のないことばかりで、勉強する事が多く、果てしない道に感じますが、今回のセミナーの内容を理解し、役立てるようにしていきたいと思いました。
- オンラインでしたが、他大学と交流できる機会は貴重なもので、開催いただきありがとうございました。
- Zoom に慣れていないため、グループワークがとてもやりづらかった。

令和 2 年度 決 算 書（案）

自 令和 2 年 9 月 1 日
至 令和 3 年 8 月 3 1 日

項 目	2 年度予算額	2 年度決算額	増減（△）	摘 要
（収 入）	円	円	円	
前年度繰越金	1,638,429	1,638,429	0	
会 費	756,000	756,000	0	12,000 円× 63 館
雑 収 入	120,015	100,014	△ 20,001	協賛広告 協議会誌第 72 号（20,000 円× 5 社） 郵貯等利子（14 円）
計	2,514,444	2,494,443	△ 20,001	
（支 出）	円	円	円	
会 誌 印 刷 費	480,000	514,800	34,800	会誌第 72 号
総 会 補 助 費	200,000	0	△ 200,000	
事 業 費	150,000	0	△ 150,000	
部 会 活 動 費	150,000	0	△ 150,000	
通 信 運 搬 費	40,000	63,360	23,360	会誌郵送料、振込手数料等
積 立 繰 入 金	75,600	75,600	0	記念事業基金に繰入
会 議 費	20,000	0	△ 20,000	
消 耗 品 費	20,000	0	△ 20,000	
雑 費	30,000	26,220	△ 3,780	会計監査旅費等
予 備 費	1,348,844	0	△ 1,348,844	
次 年 度 繰 越	0	1,814,463	1,814,463	
計	2,514,444	2,494,443	△ 20,001	

令和 2 年度 記念事業基金決算書（案）

自 令和 2 年 9 月 1 日
至 令和 3 年 8 月 3 1 日

項 目	2 年度予算額	2 年度決算額	増減（△）	摘 要
（収 入）	円	円	円	
前年度繰越金	737,742	737,742	0	
積 立 金	75,600	75,600	0	記念事業実施のための積立
利 息	6	6	0	ゆうちょ銀行利子
計	813,348	813,348	0	
（支 出）	円	円	円	
事 業 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
次 年 度 繰 越	813,348	813,348	0	
計	813,348	813,348	0	

令和2年度監査報告

令和2年度東北地区大学図書館協議会監査報告

1. 日 時：令和3年9月6日（月）
2. 場 所：書類を送付してメールによる監査
3. 監査対象期間：令和2年9月1日～令和3年8月31日
4. 監査結果：

東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。

監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

令和3年9月6日

監査館

青森公立大学図書館

教務・学生チーム主査

一町田

学



尚絅学院大学図書館

教育研究支援課長

小島里美



令和３年度 事業計画（案）

令和３年９月１日～令和４年８月３１日

- １．第７６回総会の開催
令和３年９月２４日（金）～９月３０日（木）、宮城大学を当番館として開催（メール会議により実施）
- ２．会誌第７３号の刊行
令和４年５月 刊行予定
- ３．研修部会の活動
 - ①「大学図書館職員初任者マニュアル」の改訂（前期から継続）
 - ② 東北地区に必要な研修の検討：研修ロードマップの作成
（フレッシュパーソンセミナーとは異なるレベルの研修の必要性）
- ４．合同研修会の開催
開催当番 岩手地区の予定（下記のとおり）
- ５．職員の表彰
 - ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
 - ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者
- ６．記念事業基金の積立
令和３年度通常会計から、記念事業基金（７５,６００円）を繰入予定

令和３年度合同研修会について

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

〔提案理由〕

令和３年度は 岩手地区 が開催当番の予定になっているので、確認願いたい。

〔参考〕

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

（平成２２年９月１６日承認，平成２８年９月３０日更新）

年度	当番地区	会場大学	テーマ
22	秋 田	秋田大学	図書館を守る
23	山 形	山形大学	学生、教職員そして社会が求める大学図書館職員像
24	福 島	福島大学	図書館における学習支援に関するサービスの現状と展望について

25	宮 城	東北大学	アクティブラーニングとは何か？その実践とは？：アクティブラーニングを通じて大学図書館と大学のつながりを考える
26	青 森	弘前大学	電子書籍サービスと学習・教育支援
27	岩 手	岩手大学	図書館のコミュニケーション能力を考える：メディアリテラシーからの考察と初歩的な対応手法を学ぶ
28	秋 田	秋田大学	これからの大学図書館員が進むべき方向を探る：オープンサイエンスが秘める可能性
29	山 形	山形大学	著作権法改正と図書館サービス
30	福 島	福島大学	「新しい学び」を創発する大学図書館・図書館職員の役割とは
元	宮 城	東北大学 宮城教育大 学	電子コンテンツ、オープンアクセス、そして JUSTICE [オンライン開催]
02	青 森	弘前大学	学生目線での図書館改革 [オンライン開催]
03	岩 手		

注：会場大学の決定については、当番地区において協議するものとする。

令和 3 年度 予算書（案）

自 令和 3 年 9 月 1 日
至 令和 4 年 8 月 31 日

項 目	2 年度予算額	3 年度予算額	増△減	摘 要
（収 入）	円	円	円	
前年度繰越金	1,638,429	1,814,463	176,034	
会 費	756,000	756,000	0	12,000 円× 63 館
雑 収 入	120,015	100,015	△ 20,000	協賛広告 協議会誌第 73 号（20,000 円× 5 社） 七十七銀行等利子（15 円）
計	2,514,444	2,670,478	156,034	
（支 出）	円	円	円	
会 誌 印 刷 費	480,000	520,000	40,000	会誌第 73 号
総 会 補 助 費	200,000	200,000	0	実費精算
事 業 費	150,000	150,000	0	合同研修会補助，表彰関係
部 会 活 動 費	150,000	150,000	0	研修部会（会議開催等）
通 信 運 搬 費	40,000	60,000	20,000	郵送料等
積 立 繰 入 金	75,600	75,600	0	記念事業基金に繰入
会 議 費	20,000	20,000	0	総会打合せ旅費等
消 耗 品 費	20,000	20,000	0	会誌送付用封筒等
雑 費	30,000	30,000	0	会計監査旅費等
予 備 費	1,348,844	1,444,878	96,034	
計	2,514,444	2,670,478	156,034	

令和 3 年度 記念事業基金予算書（案）

自 令和 3 年 9 月 1 日
至 令和 4 年 8 月 31 日

項 目	元年度予算額	2 年度予算額	増△減	摘 要
（収 入）	円	円	円	
前年度繰越金	737,742	813,348	75,606	
積 立 金	75,600	75,600	0	通常会計から繰入
利 息	6	6	0	ゆうちょ銀行利子
計	813,348	888,954	75,606	
（支 出）	円	円	円	
事 業 費	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
次年度繰越	813,348	888,954	75,606	
計	813,348	888,954	75,606	

東北地区大学図書館協議会 研修部会担当館一覧

期	部会名	任期	国立	公立	私立
1	研修部会	H20. 9-H22. 8	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	八戸大学・八戸短期大学 宮城学院女子大学
2	研修部会	H22. 9-H24. 8	東北大学 秋田大学	青森県立保健大学	八戸大学・八戸短期大学 東北福祉大学
3	大学教育部会	H24. 10-H25. 8	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	盛岡大学 東北学院大学 東北福祉大学
4	大学教育部会	H25. 9-H27. 8	東北大学 (2 名) 山形大学		東北学院大学 東北福祉大学
5	大学教育部会	H27. 9-H29. 8	弘前大学 東北大学 福島大学	秋田県立大学	岩手医科大学 東北学院大学
6	研修部会	H29. 9-R01. 8	東北大学 秋田大学	宮城大学	青森中央学院大学・青森中央短期大学 東北学院大学
7	研修部会	R01. 9-R03. 8	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	八戸工業大学 東北学院大学
8	研修部会	R03. 9-R05. 8	東北大学 秋田大学	青森公立大学	富士大学 東北学院大学

第 77 回総会の当番地区（館）について

（常任幹事館：東北大学附属図書館）

〔提案理由〕

第 77 回総会は 岩手地区 が当番の予定になっているので、確認願いたい。

〔参考〕

東北地区大学図書館協議会総会当番地区（館）予定

（第 81 回まで、平成 29 年 9 月 22 日承認）

回	年度	当番地区	会 場 大 学	備考
64	21	宮 城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋 田	国 際 教 養 大 学	
66	23	山 形	山 形 大 学	
67	24	宮 城	東 北 大 学	
68	25	青 森	八 戸 工 業 大 学	
69	26	岩 手	岩 手 大 学	
70	27	宮 城	宮 城 教 育 大 学	
71	28	福 島	福 島 大 学	
72	29	秋 田	秋 田 公 立 美 術 大 学	
73	30	宮 城	東 北 学 院 大 学	
74	元	山 形	山 形 大 学	
75	2	青 森	弘 前 大 学	メール会議
76	3	宮 城	宮 城 大 学	
77	4	岩 手	岩 手 医 科 大 学	
78	5	福 島		
79	6	宮 城		
80	7	秋 田		
81	8	山 形		

注 1：会場大学については、当該地区において協議の上、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注 2：開催地区のローテーションの確認について

①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので、3 年に 1 回割り振る。

②その他の地区は、次のローテーションによる。

青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

承合事項 1：学外者の図書館利用について

(提案館：山形県立保健医療大学附属図書館)

提 理	案 由
	新型コロナウイルスへの感染が収束しない中、本学では、学内者については感染対策を行いながら利用していますが、学外者については利用できない状況となっております（医療関係者のみ予約制で利用時間制限付きで利用可とした期間あり）。 今後、どのような状況になったら学外者への利用を再開するかを模索しているところです。 貴館における学外者の利用制限の状況と今後の予定、制限の強化又は緩和を実施する基準や考え方があればご教示願います。
弘前大学 附属図書館	学外者については段階的に利用を拡大している段階です。7月より、連携している弘前市内の大学の所属者のみ入館可、一般の方はカウンターでの出納式の貸出のみ（入館不可）としています。 感染症対策で閲覧席を間引きしているため、通常の半分程度の席数となっています。そのため、一般の方を入館させた場合、閲覧席が不足することが予想されるため、入館を許可していません。今後ワクチン接種が進み、閲覧席を間引きしないで利用可能となった場合は、一般の方も入館可とする方向で検討予定です。 なお、万が一、学内で感染が拡大した場合は、学外者の利用を制限することもあると思われます。
岩手大学 図書館	<現状> 2020年7月から、学外者の入館利用を再開。（閲覧席の利用も可） - 館内の利用は1時間以内を目安としている。（ただし、厳密にチェックはしていない）。 - 遠方からの来館希望の相談があった際は、最寄りの図書館経由で本学資料が取り寄せ可能であることを伝え、非来館での資料利用に協力を依頼している。 - 岩手大学の警戒段階別対応方針（BCP）の他、岩手県の「感染が拡大している地域との往来」も参考にしている。県をまたぐ（感染流行地域からの）来訪の場合は、極力事前に連絡をしていただき、一般の利用者と接触しない場所で資料を利用できるように対応している。 <今後> - 当面の間は上記の運用を継続する予定。

東北大学 附属図書館	当館では、本学の新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針（BCP）のレベルに基づき、図書館サービスのレベルを定めており、大学のBCPレベルの引き上げ・引き下げにより、サービスレベルも変更しています。 学外者の図書館利用については、以下の通りです。 <table> <tr> <th>レベル</th><th>貸出</th><th>貸出不可の一般図書</th><th>貴重書閲覧</th></tr> <tr> <td>0</td><td>通常利用</td><td>通常利用</td><td>通常利用</td></tr> <tr> <td>1</td><td>事前予約による出納貸出のみ可（入館不可、入口受付で引渡し）</td><td>館内での一時閲覧可</td><td>来館者の居住地域を勘案して判断</td></tr> <tr> <td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3.5</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>4</td><td>利用不可</td><td>利用不可</td><td>来館利用不可</td></tr> <tr> <td>5</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 令和3年8月30日時点ではBCPレベル3で、事前予約による出納貸出のみ可としています。			レベル	貸出	貸出不可の一般図書	貴重書閲覧	0	通常利用	通常利用	通常利用	1	事前予約による出納貸出のみ可（入館不可、入口受付で引渡し）	館内での一時閲覧可	来館者の居住地域を勘案して判断	2				3				3.5				4	利用不可	利用不可	来館利用不可	5			
レベル	貸出	貸出不可の一般図書	貴重書閲覧																																
0	通常利用	通常利用	通常利用																																
1	事前予約による出納貸出のみ可（入館不可、入口受付で引渡し）	館内での一時閲覧可	来館者の居住地域を勘案して判断																																
2																																			
3																																			
3.5																																			
4	利用不可	利用不可	来館利用不可																																
5																																			
東北大学 附属図書館 医学分館	宮城県内にある本学の研修協力・連携病院等に所属する方で、調査・研究のために当館の資料を必要とする方のみ利用可としている。一般の学外者の利用制限の緩和・解除については未定である。																																		
東北大学 附属図書館 北青葉山分館	当館では2021年4月6日以降、現在も学外者の利用制限（入館不可）を実施している。コロナ以前も学外者は閲覧のみの利用としており、今のところ学外者の利用再開は未定である。 また、利用制限の緩和については所属部局の判断による。																																		
東北大学 附属図書館 工学分館	7/30現在、事前予約による貸出と文献複写に限り提供しています。弊館のサービス方針は、基本的に、本学附属図書館本館の方針に従っています。																																		
東北大学 附属図書館 農学分館	当館においても、学外者については現在利用できない状況となっております（平時より学外者への貸出は行っておりません）。今後については大学の行動指針に従い、変更に応じて関係部局と相談し、当館の対応を検討する予定です。																																		
宮城教育大学 附属図書館	現在、当館における学外者の利用は、HPの「学外の方の利用お申込みフォーム」から事前予約が必要となっており、滞在時間や利用目的を明確にし、利用を許可しております。 なお、学外者の対応は、大学の方針「行動基準」に従って運用しております。大学の方針が変更になった時点で、図書館も同様の対応に変更する予定です。																																		
秋田大学 附属図書館	■学外者の利用制限の状況：R2.3.9～ 利用不可 ■今後の予定：制限緩和の時期未定 ■制限を緩和する基準・考え方： 感染予防の全学方針に沿い、その時点の秋田県感染警戒レベルに合わせた開館運営体制を館長の決定により運用することとし、機動的なサービス提供を行う。（R3.3.26「附属図書館におけるアクティブ・ラーニングのスペース提供及び開館運用方針について」）																																		

秋田大学 附属図書館 医学部分館	【現在の状況】 当館においても学外者の利用は停止している。 【今後の対応】 学外者の利用制限の強化又は緩和については、明確な基準や考え方などは設けていない。今後は状況の変化に応じた対応を検討しながら、その都度検討することになる。
山形大学 小白川図書館	当館は大学の活動指針に合わせた利用体制をとっている。指針のレベル1.5以上で「学内施設の外部への一般開放及び貸し出しは原則禁止」となっている期間は学外者の利用を制限する（回答日現在レベル2）。 レベルが1の「感染症対策の徹底をした上で通常どおり」となった場合に、利用を再開する予定である。
山形大学 医学部図書館	◇学外者利用制限の状況 本学の活動指針レベル1.5の現状では、「学内施設の外部への一般開放及び貸し出しは原則禁止」とされている。これに合わせ、当館も学外者の入館については禁止している。 ただし、貸出サービスのみ、事前に電話予約いただき、借りたい資料名および来館予定日時を伝えていただければ、職員が事前に出納後、カウンターで受け渡しを行っている。 ◇今後の予定 本学活動指針レベルに基準を合わせ、柔軟に対応していく。現状よりレベルが下がらない限り、学外者の図書館利用については原則禁止を維持する予定。
山形大学 工学部図書館	本館においても学外者の利用については、当面の間、利用を停止していますが、今後の状況によっては、事前に申し込みのあった資料のみ貸出サービスの再開を検討しています。
山形大学 農学部図書館	「学内施設の外部への開放等」について、大学の活動指針では下記のとおりとなっている。（2021.8.23現在はレベル2） レベル0：通常どおり レベル1：感染症対策の徹底をした上で通常どおり レベル1.5～レベル2：学内施設の外部への一般開放及び貸し出しは原則禁止 レベル3～レベル4：学内施設の外部への一般開放及び貸し出しは中止 当館では令和2年4月より学外者利用を停止している状況である。しかし、学外者から問合せや利用の要望もあることから、県内外の他館の実施例を参考にしながら、事前予約制の資料貸出サービス開始を検討していた。（カウンターで短時間での予約資料の受け渡し。施設滞在は不可。） 原則レベル2以下の場合にサービス実施（感染拡大状況によっては停止）ということで、8月～9月にサービス開始を予定していたが、近隣地域での感染拡大の影響もあり、現在サービス開始の目途が立っていない状況である。

福島大学 附属図書館	現在の学外者の利用は、事前申込による貸出図書及び代行コピーの受け渡しのみとしており、座席数が制限されている状況などから、館内での閲覧等は不可としている。なお、遠方にお住いの学外者については、直接の来館を控えていただき、相互貸借やコピーの郵送（代金は現金書留で前払）を勧めている。 制限の強化や緩和については、決まった基準はなく、大学の状況に応じた判断となるが、遠隔授業の再開など利用者同士の接触の機会を減少させる必要が出てきた場合は、制限を強化してきている。また、制限の緩和については現在検討中のため、今回の他大学の事例を参考にさせていただきたい。
青森公立 大学図書館	パーテーションや消毒液の設置など感染対策を施した館内において、本学図書館では学外者の利用についても制限は行っていない。 今年度の開館時間等の方針（土曜閉館・時短対応）や本学の立地条件等から、実態として学外者の利用が非常に少ない状況となっている。
青森県立 保健大学 附属図書館	当館は令和3年8月12日時点では学外者利用の制限を行っておりませんが、状況に応じて「青森県立保健大学における新型コロナウイルス感染症のフェーズに応じた対応方針」に基づき利用制限等を行うこととなっております。 「青森県立保健大学における新型コロナウイルス感染症のフェーズに応じた対応方針」 http://www.auhw.ac.jp/info/files/phase.pdf
岩手県立大学 メディアセンター	本学で定める新型コロナウイルス感染症対応指針及び危機管理対策本部会議での検討により、学外者の施設利用制限や解除を行っている状況です。 今後も本学の発生状況等の他、県内の発生状況等や国、県からの要請内容などを総合的に検討しながら、対応していく予定です。
宮城大学 学術情報 センター	本学では、現在のところ学外者の利用を停止しております。 図書館では、大学の授業実施方針にもとづき、サービスレベルの対応表を作成し、運営を行っております。そのため、制限の強化や緩和の基準は、図書館独自で定めるのではなく、大学の方針・授業の実施状況に対応するようにしております。
秋田県立大学 附属図書館	学外者の図書館利用は、令和3年1月25日から入館禁止としているが、9月1日から再開する予定。利用制限の実施については、学外者への大学施設の使用・貸出における本学の方針に沿って決定している。
秋田公立 美術大学 附属図書館	本館も学外者については利用できない状況となっております。 どのような状況になったら学外者への利用を再開するかは未定。 制限の強化又は緩和を実施する基準については、本学の危機管理対策本部の決定および県の「新型コロナウイルス感染警戒レベル」に準じて都度決定している。

国際教養大学 中嶋記念 図書館	昨年の3月より学外者の図書館利用を停止しており、現在も制限を継続しています。 現在は大学全体が県外への往来や学外者の入構を制限しています。本館の学外者の利用再開は、県外への往来や学外者のキャンパスへの立入規制が解除された時に実施する予定です。
山形県立 保健医療 大学附属 図書館	令和3年8月2日より、医療従事者に限って事前予約制で利用時間を1時間までとして図書館利用を再開したが、医療従事者以外の学外者については、利用を停止している状況にある。 学外者の利用については、感染状況や設置団体である山形県からの通知等を踏まえて、必要に応じて検討している。
山形県公立 大学法人 附属図書館	学外者の利用については、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで利用を認めています。
会津大学 情報センター 附属図書館	当館では、2020年3月10日(火)～当面の間、学外者の利用を停止しています。今後の対応につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大状況や学内での対応等を鑑みながら臨機応変に検討していく予定です。
会津大学 短期大学部 附属図書館	本館でも現在学外者の図書館利用は一時停止しています。大学全体が学外の入出を規制していることもあり、また本館は狭小図書館ですので、密状態になりやすいのではという危惧もあり、コロナが脅威をふるっている現在、再開するのは難しいのではと思います。コロナ禍が収まり、本学での学外の方の入出の規制が終わりましたら、本館でも再開することになるかと思っています。他館の皆様のご意見については、本館でも参考までに教えていただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。
福島県立 医科大学 附属学術 情報センター	本学においても貴学同様に学外者の利用は休止しております。 再開の基準等は今後の状況をみて検討していくこととしております。今回の結果をぜひ参考にさせていただきたいと思います。
柴田学園大学 附属図書館	本学は学外者の図書館利用について以前から実施しておりません。 但し、提携校に限り対策をとったうえで利用可としています。
八戸学院 図書館	・非常勤講師及び法人内職員 集中講義等の非常勤講師及び、大学・短期大学部の学生、教職員以外の職員については、特に制限を設けていない。 ・地域住民 入館時、カウンターで受付をしていただき、体温チェックをし、「氏名、連絡先（住所・電話番号）、入館時間、退館時間」の記入を義務付けている。 長時間（1～2時間以上）の滞在は遠慮いただいている。 本学のある県では感染者数が比較的少ないこともあり、学外利用者への利用については、あまり厳しく制限していないのが現状である。 感染者数が増えた場合などは制限の強化を行う場合もあるが、大学の方針に従う。

八戸工業大学 図書館	現段階では、学外者の図書館利用に制限は設けておりません。 今後の感染状況によっては、必要とされる制限を設けることもあります。
弘前学院大学 附属図書館	本学では学外者の利用が多くないため検温、消毒等の感染予防対策をお願いし、通常通り利用可能です。
青森中央 学院大学・ 青森中央 短期大学 図書館情報 センター	学外者の利用は当面の間、禁止である。 今後の再開については、本学園のコロナ対策本部の決定に従うこととなっている。
岩手医科大学 附属図書館	学外者についても学内者と同様の対策（※）を実施しており、特別に利用の制限を設けてはいない。 ※消毒液の設置（入館時の手指消毒）、館内に注意喚起を掲示（ソーシャルディスタンス保持、マスク着用、咳エチケット、会話を慎む、ゴミ放置禁止）
富士大学 図書館	・現在、学外者の図書館利用は行っていない。 ・今後は新型コロナウイルス感染の状況によって学外者への図書館利用も検討する。 【理由】 本学での学外者の施設利用については、新型コロナウイルス感染防止に関する緊急対策本部の決定に従っており、当館もその方針に則っている。緊急対策本部での学外者の利用制限、緩和の基準や考え方は岩手県の新型コロナウイルス対策をベースとして本学の今後の対応を検討しており、岩手県による緊急対策宣言や県を跨ぐ移動等についての緩和が示された段階で当館の学外者の図書館利用も検討される。
盛岡大学 図書館	県や国からの宣言（緊急事態宣言等）を受け大学の方針が打ち出され、その方針をもとに学外者（一般の利用者）の対応を図書館で決定している。今後の規制の強化、緩和については同様の過程を経、決定していくことになると思われる。 現在は8/12 発令の岩手県の緊急事態宣言に伴い、学外者（一般の利用者）の利用を停止している。
修紅短期大学 図書館	以前より本学図書館は学外者の利用は不可としておりました。今後も利用不可を継続していく予定です。
仙台大学 附属図書館	本学でも、利用は学内者に限定し、学外者は利用できない状況となっております。 同様に、どのような状況になったら学外者への利用を再開するかを模索している最中です。
仙台白百合 女子大学 図書館	学外者の利用は現在コロナ禍のため原則禁止ですが、場合により事前予約制で入館を許可する場合があります。今後は状況に合わせ対応しますが、判断基準は「新型コロナウイルス感染拡大防止のための仙台白百合女子大学の行動指針（BCP）」に基づきます。
石巻専修大学 図書館	新型コロナウイルス対策として、学外者の本学キャンパスへの入校を制限しております。そのため図書館への入館も禁止です。 今後については未定です。

東北学院大学 図書館	学外者については、2020 年 4 月 16 日以降、現在も図書館の利用を停止している。学外者に対する利用制限の緩和については、本学内外における感染状況およびワクチン接種の進行状況を踏まえつつ検討することになっている。
東北工業大学 附属図書館	当館も 2020 年 4 月から現在まで学外者の入館・利用を停止しています。 学外者の利用再開または制限緩和については、学生の安全を最優先としているため未定です。
東北福祉大学 図書館	新型コロナウイルスへの感染が収束しない中、本学では、学内者については感染対策を行いながら利用していますが、学外者については利用できない状況となっております（医療関係者のみ予約制で利用時間制限付きで利用可とした期間あり）。 今後、どのような状況になったら学外者への利用を再開するかを模索しているところです。 貴館における学外者の利用制限の状況と今後の予定、制限の強化又は緩和を実施する基準や考え方があればご教示願います。
東北文化 学園大学 総合情報 センター 図書館	①学外者の利用制限状況 2020 年 4 月 6 日から、学外者の利用は一切禁止。 ②今後の予定 未定。 利用再開の基準は決めておらず、検討する段階にも至っていないが、当面は、学内者の安全を最優先で考えている。他館の対応を参考に検討したい。
東北医科 薬科大学 附属図書館	学外者について ・利用できない状況です。 今後の予定 ・未定です。 制限の強化又は緩和を実施する基準等 ・感染状況をふまえて大学全体として判断していきます。
尚絅学院大学 図書館	現段階で、学外利用者が本学図書館を利用する際の手続きは以下の通り。 1. 事前に本学所定の「体調チェックシート」「入構チェックシート」をダウンロードし、入館希望日前日から 14 日前の体調を記録する。 2. 来館希望日の 2 週間前から前開館日（土日祝日のぞく）までのあいだに、入館を希望する旨を図書館に mail で連絡する。 3. 来館日当日に、「入構チェックシート」を正門の守衛室にて提出し、入構する。 4. 入館時、図書館カウンターに「体調チェックシート」を提出後、利用可能。入構制限は、本学活動方針のフェーズ（1～6 段階）による。
聖和学園 短期大学 図書館	本館はコロナ禍にある現在だけでなく、学外者の利用は以前から認めていません。地域社会に対する貢献の観点から学外者の利用を認めるかどうかが会議の席で話題になったことはあります。しかし現時点では、具体的な検討をおこなうには至っていません。
仙台青葉学院 短期大学 図書館	当館は学外者の方のご利用をご遠慮頂いております。制限の緩和等につきましては、まだ見通しが立っておりません。

東北生活 文化大学・ 東北生活 文化短期 大学部附属 図書館	現在、学外者に対する利用サービスを停止しており、今後の再開は未定です。本学園の BCP レベルを踏まえ、学内者と学外者それぞれの利用基準や運営体制を整備するべく、現在検討している段階です。 図書館は、キャンパス内で学内者と学外者が接する機会の多い施設であることから、どうしても学外者による感染リスクを避ける必要があると思います。そのため、入退館システム等を有しない当館の場合、感染拡大が懸念される現状では、制限の維持・強化はやむを得ないところがあります。 仮に学外者の利用緩和を図る際には、1 日当たりの利用人数や利用時間の制限、利用希望者の事前申し込み時における感染予防対策の情報提供を設ける等が必要であると思われます。
ノースアジア 大学附属 図書館	本館では、限定的ではあるが、学外者の利用を認めている。（発熱の有無、体調不良が無いかな等を確認し、問題がない方のみ）
東北芸術 工科大学 図書館	本学で定める新型コロナ感染症ガイドラインに則り、全学的に学外者の入館が可能になったのち、図書館も学外者向けの運用を再開する予定です。
羽陽学園短 期大学附属 図書館	現在学外者の利用は附属園の教職員、卒業生のみです（卒業生は 10 月から利用再開）。今後の利用制限の強化、緩和については、学内のコロナ対策会議での判断によるところもあり、図書館において具体的な基準を検討するには至っていません。
東北文教大 学・東北文 教大学短期 大学部附属 図書館	現時点では未定ですが、地域の感染状況をみながら学外者への利用を再開する予定です。
東北公益 文科大学 図書館	当館では、現在学外者の利用制限を設けておりません。通常通り利用可能です。本学の新型コロナウイルス感染症対策本部が作成した、新型コロナウイルス感染症の状況に応じた東北公益文科大学の活動指針に則って、開館を決定しています。 https://www.koeki-u.ac.jp/news_topics/20201209kaitei_katsudo-hishin.pdf 以下当館が学外者利用を再開したスケジュールです。 2020 年 6 月 18 日 ・学外者の予約資料受渡等受渡再開。 ・入り口前カウンターで対応、入館は不可。 2020 年 9 月 30 日 ・一般利用者の館内利用再開（1 時間程度）。 閲覧席、パソコン利用再開。 2021 年 3 月 31 日 ・座席数を増設（飛沫防止ボードを席に設置）。 2021 年 4 月 1 日 一般利用者図書館利用時間制限解除。以降通常通り利用可能。
医療創生大 学 図書館	現在、図書館利用者は学校関係者（学生・教職員）のみに制限。 （一般利用者を含む学外者は大学への入構禁止） 但し、公立図書館を経由しての貸借依頼へは対応中。（図書館間の郵送、または市の図書館巡回車を利用）基準緩和については現状未定。

奥羽大学 図書館	学外者については、特に利用制限は行っておりません。今後もその予定はございません。図書館入口で検温してから入館するよう対応しております。
郡山女子大学 図書館	当館における外部利用者の利用の現在の状況ですが、昨年度に引き続き科目等履修生のみ利用可能としています。 それ以外の外部利用者の利用再開について、今後の予定、基準ですが、本学では、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための郡山女子大学・短期大学部の行動指針（BCP）」が策定されています。この指針に基づき、大学が判断する事となります。
東日本国際 大学 ・いわき短期大学昌平 図書館	学外者の利用は、停止しています。 （窓口での、市内ネットワークによる返却本の預かりと予約本の受け渡しのみ、実施しています） 現在の感染増加状況をみると、現状維持を取らざるを得ないと考えています。
日本大学 図書館 工学部分館	当学部では、面接・遠隔・併用授業を実施しており、キャンパスへの入構は、面接授業等の受講、研究活動、各種事務手続等に限り認められております。図書館への入館は、前記により入構を認められた学生及び教職員に限られており、学外者の利用はお断りさせていただいている状況です。 今後の学外者の利用につきましては未定となっておりますが、当館にのみ所蔵している資料の利用を希望される場合は、所属機関図書館又は公共図書館からの相互利用をお勧めしています。
桜の聖母短期大学図書 情報センター	今年度4月より、本学の生涯学習センターの当年度の受講生または履修証明プログラムの履修者で、図書館に登録された方であれば、滞在時間の制限付きで利用可としています。 学外者の利用制限は、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための桜の聖母短期大学の行動指針」に基づき、危機管理委員会および教授会に諮って、判断しています。
福島学院大学 図書館情報 センター	2020年4月2日より現在まで、学外者は利用できない状況です。 学内者については、8月26日（木）～9月14日（火）まで休館ですが、LINEによるチャットでのレファレンス・貸出予約・返却を受付けている。

承合事項2：感染症対策、非接触型機器について

（提案館：盛岡大学図書館）

提 案 理 由	コロナ禍において、各館で設置している感染症対策としての非接触型機器（例えば入退館システム、自動貸出機等）についてその台数と運用についてお教えいただきたい。
------------------	---

弘前大学 附属図書館	入退館システムは、正面玄関（入館ゲート2通路、退館ゲート1通路）及び図書館西口（入館ゲート1通路、退館ゲート1通路）に設置しています。図書館西口の入退館システムは、雑誌棟の改修工事に伴い、令和3年3月に設置したものです。また、今年度中に、正面玄関の入退館システムを更新する予定です。正面玄関の退館ゲートは現在、手動開閉タイプですが、感染症対策のため、電動開閉タイプを購入する予定です。（図書館西口の退館ゲートは電動開閉タイプです。） 自動貸出返却装置は1台設置しています。返却処理については、ブックポストを24時間返却可能とし、また館内には返却本を返却処理しないまま置いて良い返本台を増やすなど、非接触で対応できるようにしました。
岩手大学 図書館	下記の機器を入館ゲートやカウンターの近くに設置し、利用者が自由に使用できるようにしている。 ・AI体温検知顔認証カメラ 1台 ・自動貸出返却装置 2台 ・図書消毒機 1台 なお、2022年4月から非接触型入退館管理システムを導入する予定。
東北大学 附属図書館	1) 感染症対策として導入した非接触型機器 ・サーモカメラ 1台（入口受付前に設置） ・返却用ブックポスト 1台（館外の入口横に設置、閉館時に利用） ※ブックポストは機器ではありませんが、コロナ禍になって導入しました。 2) 既存の非接触型機器 ・入退館システム（入口に入館2通路・退館2通路、書庫出入に1通路） ・自動貸出機 3台 ※いずれも磁気カード使用（退館時はカードスキャン不要）
東北大学 附属図書館 医学分館	感染症対策としての非接触型機器は以下のとおり。 ・入退管理システム（入館用ゲート）：1台 ※システム更新を機に、館内の入館用ゲートにサーマルカメラを設置し、体温・マスク着用のチェックとゲートの開扉判定を連携させている。 ・自動貸出機：1台 ※従来から設置しているが、貸出・延長を選択する際は液晶パネルに接触するため、機器の脇にアルコール消毒液を常備しているほか、効果が長時間持続する抗菌スプレーで定期的にコーティングする対策を講じている。 ・ペダル式アルコール消毒液スタンド：3台 ※利用者用入口2ヶ所に各1台、業者が出入りする通用口に1台設置している。
東北大学 附属図書館 北青葉山分館	・自動貸出機（1台） 手指の消毒の上、利用するよう声掛けしている ・サーマルカメラ（1台） 非接触型体温計測機を入口前に設置し、入館前に体温測定をお願いしている。

東北大学 附属図書館 工学分館	体温検知システム（1台）を導入し、発熱、マスク未着を管理しています。また、この度のコロナ禍以前より、磁気カード（学生証・職員証・図書館利用証）のセルフ読み取りによる入館（カードリーダー2台＋管理サーバ）、自動貸出機（1台）によるセルフ貸出手続きを行っています。	山形大学 農学部 図書館	・表面温度チェッカ 1台 入館ゲート前に設置し、体温測定してから入館してもらっている。 温度は表示されないが、設定温度 37.5 度以上の場合はエラー音が鳴る仕組みのため、エラー音が鳴った場合は、体調の確認や再測定呼びかけ等を行っている。
東北大学 附属図書館 農学分館	当館の非接触型機器は以下の通り導入しておりますが、いずれも新型コロナウイルス感染症の流行以前に設置したものです。 ・入退館システム 1 式 ・自動貸出機 1 台	福島大学 附属図書館	・入館ゲート（2台）の設置 ・PC ロッカーの設置（貸出用のノート PC（17 台）をセルフで貸出・返却） どちらも、学生証や職員証、図書館発行の利用証等で入館や利用ができるようにしている。
宮城教育大学 附属図書館	当館では、入退館システム 1 台、自動貸出機 1 台を 2015 年度に導入しております。どちらも感染症対策ではなく、通常業務においての必要性から購入したものです。	青森公立大学 図書館	< 自動貸出返却装置（セルフレジ）> 利用者の拡大や非接触型の推進を目的として、自動貸出返却装置（セルフレジ）1 台を 2021 年度中に納品、稼働予定となっている。 < 図書館入退館システム BDS > 本学図書館の入館には学生証等の ID の有無は不要であるため、ID 読み取り部の無い非接触のゲートとなっており、図書の持ち出し防止と入館者数のカウント等を行っている。 < 図書用除菌ボックス > 非接触型機器ではないが、2021 年度春から、衛生面強化の観点から紫外線による殺菌や送風による集塵・脱臭を行う図書用除菌ボックスを 1 台導入した。館内の図書を対象に利用者自身で操作することが可能になっている。
秋田大学 附属図書館	コロナ禍以前より、入退館ゲートおよび自動貸出機を運用している。 ■入退館ゲート 1 階及び 2 階の入口に BPS（ブック・プロテクション・システム）の機能も兼ねたゲートを設置している（現在 2 階入口は閉鎖中）。 ■自動貸出機（タッチパネル式 2 台） バーコードのない資料や視聴覚資料など一部資料を除き、原則として自動貸出機での貸出処理を推奨。 利用者には自動貸出機の使用前に手指の消毒を促しているほか、職員が定期的に機器を消毒。 コロナ後の導入機器 ■図書除菌機（1 台） 利用者自身が借用資料の除菌に利用できるよう、自動貸出機の横に設置。 ■サーマルカメラ（1 台） 入口とカウンターの間に、体温とマスク着用の有無を検知できるカメラを設置。	青森県立 保健大学 附属図書館	当館では、感染症対策としてではありませんが、下記の機器を設置しております。 ・入退館システム（1 セット）：入館は学生証バーコードの読み取りによる自動開閉、退館は BDS のみです。BDS はバーを押して動かすタイプのため、非接触型機器ではありません。 ・自動貸出装置（1 台）：平成 15 年度の大学院開設時に無人開館を実施するため設置しました。通常開館中も利用されています。 当館の自動貸出装置は、貸出手続き時に利用者自身が画面上のボタンをタッチする必要があり、非接触型機器ではありません。
秋田大学 附属図書館 医学部分館	【非接触型機器】 ・入退館ゲート：1 セット（入出） ・閉館時入退館システム：1 セット（ドア開閉） ・検温用サーマルカメラ：1 台	岩手県立大学 メディア センター	・非接触型体温計測装置（1 台） 入館ゲート前に設置 ・入退館システム（1 セット（1 通路）） ・自動貸出返却装置（1 台） 消毒を行いながら、カウンター対応と併用して使用している。 ・IC カードリーダー（カウンター端末 2 台に各 1 台接続） カウンターでの貸出時に、利用者自身（※）に学生証等を IC カードリーダーにかざしてもらっている（職員が学生証等に直接触れなくても貸出が可能になっている。）。（※学内者のみ）
山形大学 小白川図書館	非接触型機器として以下がある。 ・自動貸出機 1 台 ・入館時の IC カードリーダー（学生用）1 台 コロナ対策として導入したものではないが、結果的に非接触となり有効であった。自動貸出機については接触部分があるため、消毒用品を配備のうえ、利用者が利用時に消毒するようにしている。	宮城大学 学術情報 センター	本学の 2 つのキャンパスのうち、大和キャンパス図書館は入館ゲートがないため、カードリーダーを設置し、入退館の管理を強化しています。機器は入館用・退館用それぞれ 1 台ずつ設置し、動線も分けるようにしています。
山形大学 医学部 図書館	◇入退館システム 1 台。3M 社製 M-3500 シリーズ。コロナ禍以前から導入済み。 ◇自動貸出機等 0 台。現在は設置なしだが、申請中の予算が付けば導入を予定している。		
山形大学 工学部 図書館	入退館システム一式、自動貸出機 1 台で運用しています。		

秋田県立大学 附属図書館	自動貸出返却機 ・秋田キャンパス 2台 ・本荘キャンパス 1台 ・大潟キャンパス 1台 人との接触を避けるため、なるべく自動貸出返却機を利用するよう指導しているが、混雑時や自動貸出返却機では手続きできない資料（雑誌や付録のある図書等）の貸出・返却は、カウンターの職員が対応している。
秋田公立美術大学附属図書館	感染症対策としての非接触型機器は導入しておりません。入退館システム、自動貸出機いづれも未導入です。
国際教養大学 中嶋記念 図書館	非接触型機器として、自動貸出機1台を所有しています。利用者には視聴覚資料などの貸出時を除き、感染症対策のために自動貸出機の利用を推奨しています。また、返却の際も図書館棟入口や図書館入口に設置している返却ボックスに返却するよう促しています。
山形県立保健医療大学附属図書館	入退館システム、自動貸出機等の非接触型の機器は設置しておらず、一般的な感染対策を行いながら開館している。
山形県公立大学法人 附属図書館	本学では、非接触型機器の設置はしておりません。
会津大学 情報センター 附属図書館	エントランス付近に非接触型体表温検知器を1台設置しており、来館者に検温の協力をお願いしています。
会津大学 短期大学部 附属図書館	現在本館にある機器で感染対策として活躍しているのは除菌BOXです。返却された図書についてすべて除菌BOXで除菌してから棚に返却するようにしています。 あと、現在利用しているBDSが老朽化しており、更新のため予算要求していく予定です。ICチップ型に移行し、入退館システムも一緒に導入したいと考えています。この要求が叶い、状況が整えば、その付随効果として、例えば密の状況を避けるために、入退館システムで一定以上の入館人数を制限するとか、もしくは蔵書点検時に図書に不用意に触れないで資料IDを読み込むといったことも可能になり、一定の感染予防が見込まれるのではないかと期待しています。ただ、これはあくまで将来構想であり、現在は予算要求前の段階です。
福島県立医科大学附属 学術情報 センター	入退館について入館はカード認証によりゲートが開閉し、非接触で入館できます。退館時に無断持出防止装置は導入しているが、カード認証は無くゲートを手で押して退館します。なお、ゲートは1か所です。 今年開館した保健科学部図書室では退館時もカード認証するシステムとしました。 自動貸出機を1台導入し、学内者の図書貸出に利用している。利用者にも定着しているが、学外者は利用できないほか、雑誌、視聴覚は貸出期限が違うため利用できません。カウンターで貸出の場合、学内利用者はICカードのためカード読取に利用者自身でカードを当ててもらうこととし、カードを預からないこととしました。学外利用者は磁気カードのため、利用再開までに検討する必要があります。
柴田学園大学 附属図書館	本学は自動貸出機を1台導入しております。

八戸学院 図書館	・入口に設置 自動検温器 1台 足踏み式消毒スタンド 1台
八戸工業 大学図書館	感染症対策としての非接触型機器の導入は行っておりません。 非接触型体温計は、必要時には使用できるよう準備しております。
弘前学院大学 附属図書館	本学では導入しておりません。
青森中央 学院大学・ 青森中央 短期大学 図書館情報 センター	学内出入口で非接触型機器を用いて体温測定を実施しているが、その他、感染症対策のために追加で設置したものではない。
岩手医科大学 附属図書館	感染症対策としての非接触型機器は設置していない。
富士大学 図書館	非接触型機器の導入は当館ではおこなっていない。現時点では今後も導入予定はない。
盛岡大学 図書館	感染対策としてソーシャルディスタンスを保つことが求められている。当館は利用者と館員のソーシャルディスタンスを保つ（利用者と接触を極力避ける）ための感染対策機器として今年度図書自動貸出返却装置を導入した。（1台）現在は入退館システムがないので自前の急造品（MS Forms）を利用し入館記録をとっている。 今後入退館システムの導入を検討していきたいと考えている。
修紅短期大学 図書館	本学では導入しておりません。
仙台大学 附属図書館	本学は、非接触型機器を導入しておりません。
仙台北百合 女子大学 図書館	特にコロナ禍に対策するための設置ではありませんが、当館では入退館システム1台、自動貸出機1台を設置しています。利用者の入館時には手指の消毒と検温およびマスク着用をして頂いています。
石巻専修大学 図書館	特別の非接触型機器は設置しておりません。
東北学院大学 図書館	入退館システムについては、中央図書館および多賀城キャンパス図書館、泉キャンパス図書館に各1台設置している。元々、新型コロナウイルス感染症対策として導入しているものではないが、結果として非接触機器として感染症対策につながっていると考えられる。 また、中央図書館については、本年5月から入館時の体温測定用に非接触型自動検知機器1台を導入し、図書館利用者とカウンタースタッフとの接触の機会を減らすようにしている。（多賀城および泉では、キャンパス入口の正門で体温測定を実施している。）
東北工業大学 附属図書館	利用者と対面するカウンターへの飛沫防止シートの設置や、貸出・返却における接触時間を最小限に留めているため、感染症対策としての非接触型機器は特に導入しておりません。
東北福祉大学 図書館	コロナ禍において、各館で設置している感染症対策としての非接触型機器（例えば入退館システム、自動貸出機等）についてその台数と運用についてお教えいただきたい。

東北文化学園大学総合情報センター 図書館	感染症対策として設置した非接触型機器は無い。 なお、入退館システムは、DIALOG-ID の BP-3030 を使用。光電センサーにより検知アンテナ通過時に人数をカウントするタイプで、学生証などの ID カード読み取り機能はなく、入退館者履歴は把握出来ない。
東北医科薬科大学 附属図書館	特に設置した機器はありません。
尚絅学院大学 図書館	1. コロナ以前より図書館の入退館ゲートおよび閲覧カウンターでは IC カード内蔵の学生証や Felica 系各種 IC カードを利用者証として使用している。入退館ゲートは入退館各 1 台の計 2 台があり、入退館カウンター管理 PC では利用者の入退館時刻も記録している。 2. 自動貸出機は導入していない
聖和学園 短期大学 図書館	本館では非接触型の機器を導入していません。
仙台青葉学院短期大学 図書館	当館では設置しておりません。
東北生活文化大学・東北生活文化短期大学部 附属図書館	感染症対策として館内（閲覧室）入り口に非接触式検知器（サーモグラフィカメラ）を 1 台設置しており、検温を実施しています。なお、入退館システムや自動貸出機は設置していません。
ノースアジア大学 附属図書館	本館では、体温計を必要に応じて使用している。
東北芸術工科大学 図書館	本学では導入しておりません。
羽陽学園 短期大学 附属図書館	非接触型機器は入口にアルコール消毒器 1 台を設置しており、それ以外はありません。
東北文教大学・東北文教大学 短期大学部 附属図書館	当館では導入しておりません。
東北公益文科大学 図書館	・非接触型入退館システム 入館ゲート 1 台、退館ゲート 2 台 その他、自動貸出機等はありません。
医療創生大学 図書館	現状、感染症対策としての非接触型機器の導入はなし。 （自動貸出機 2 台、顔認証ゲートをそれぞれ館内に設置・運用しているが、これらはコロナ禍以前より運用されているもの）
奥羽大学 図書館	感染症対策としての非接触型機器は設けておりません。
郡山女子大学 図書館	当館では運用しておりません。
東日本国際大学・いわき短期大学 昌平図書館	非接触型機器（入退館システム、自動貸出機）は、導入していません。
日本大学 図書館 工学部分館	当館では、学生証が IC カードのため、入退館システムを非接触型で運用しております。 なお、自動貸出機等その他非接触型機器は保有しておりません。

桜の聖母短期大学 図書館情報センター	非接触型機器ではありませんが、感染症対策として図書除菌機（1 台）を購入し、利用者および職員が使用できるよう館内に設置しました。
福島学院大学 図書館情報センター	自動検温器 1 台 自動アルコール消毒オートディスペンサー 1 台

第 7 6 回東北地区大学図書館協議会総会議事メモ

開催日 令和 3 年 9 月 2 4 日（金）～ 9 月 3 0 日（木）（メール会議）
当番館 宮城大学学術情報センター

議 事

1. 報告事項

- (1) 令和 2 年度活動報告について
 - (2) 令和 2 年度一般報告について
 - (3) 令和 2 年度研修部会活動報告について
 - (4) フレッシュパーソンセミナー報告について
- 事務局から、上記報告事項について資料 1 ～ 4 に基づき報告があった。

2. 協議事項

- (1) 令和 2 年度決算報告について
 - (2) 令和 2 年度記念事業基金決算報告について
 - (3) 令和 2 年度監査報告について
- 事務局から、上記 (1) ～ (3) について資料 5 ～ 7 に基づき報告があり、それぞれ原案のとおり承認された。
- (4) 令和 3 年度事業計画について
 - (5) 令和 3 年度予算及び記念事業基金予算について
- 事務局から、上記 (4) ～ (5) について資料 8 ～ 9 に基づき提案があり、それぞれ原案のとおり承認された。
- (6) 役員館の選出について
 - (7) 研修部会委員の選出について
- 事務局から、上記 (6) ～ (7) について資料 1 0 ～ 1 1 に基づき提案があり、それぞれ原案のとおり承認された。
- (8) 第 7 7 回総会の当番地区（館）について
- 事務局から、資料 1 2 に基づき次回当番地区は岩手地区であり、会場大学は岩手医科大学とすることで承認された。

3. 承合事項

提案の主旨については、資料 1 3 ～ 1 4 の各提案館からの提案理由のとおりであり、特に意見等はなかった。

図 書 館 統 計 年 報

(1) 建物・蔵書状況

(令和3年3月31日現在)

図書館名	建 物 延面積	蔵 書 冊 数			令和2年度増加冊数		
		和 書	洋 書	計	和 書	洋 書	計
	m ²	冊	冊	冊	冊	冊	冊
弘 前 大 学	6,131	520,700	160,386	681,086	5,780	380	6,160
〃 医学部分館	1,569	82,976	68,035	151,011	910	254	1,164
岩 手 大 学	9,088	696,502	198,874	895,376	6,051	400	6,451
東 北 大 学	18,215	1,674,646	1,180,626	2,855,272	12,679	3,144	15,823
〃 医学分館	4,476	159,967	236,925	396,892	1,678	605	2,283
〃 北青葉山分館	3,356	95,291	308,284	403,575	1,369	372	1,741
〃 工学分館	5,365	184,592	183,980	368,572	1,849	514	2,363
〃 農学分館	5,732	94,098	62,728	156,826	1,715	270	1,985
宮 城 教 育 大 学	2,857	331,564	51,004	382,568	4,532	225	4,757
秋 田 大 学	4,604	317,851	113,877	431,728	2,733	351	3,084
〃 医学部分館	1,717	56,626	56,798	113,424	574	80	654
山形大学小川図書館	7,626	539,161	184,928	724,089	1,794	213	2,007
〃 医学部図書館	1,195	37,507	55,904	93,411	191	20	211
〃 工学部図書館	3,259	117,522	58,282	175,804	393	75	468
〃 農学部図書館	969	85,327	17,323	102,650	600	22	622
福 島 大 学	10,084	722,195	236,638	958,833	5,264	417	5,681
青 森 公 立 大 学	3,337	148,282	45,063	193,345	2,199	101	2,300
青 森 県 立 保 健 大 学	1,850	102,912	24,432	127,344	2,631	14	2,645
岩 手 県 立 大 学	6,828	341,188	68,167	409,355	7,115	527	7,642
宮城大学大和キャンパス	2,193	111,686	17,555	129,241	1,227	36	1,263
宮城大学太白キャンパス	943	63,175	7,302	70,477	341	30	371
秋 田 県 立 大 学	4,769	242,655	58,500	301,155	5,899	1,248	7,147
秋 田 公 立 美 術 大 学	1,194	48,693	9,091	57,784	1,273	57	1,330
国 際 教 養 大 学	1,831	31,058	52,176	83,234	329	-715	-386
山形県立保健医療大学	903	64,467	6,894	71,361	958	25	983
山 形 県 公 立 大 学	984	113,775	9,648	123,423	869	87	956
会 津 大 学	2,446	61,452	68,684	130,136	206	-498	-292
〃 短期大学部	443	72,263	8,958	81,221	912	177	1,089
福 島 県 立 医 科 大 学	34,794	139,033	95,647	234,680	4,974	700	5,674
柴 田 学 園 大 学	559	42,074	4,907	46,981	298	0	298
八 戸 学 院 大 学	1,636	161,985	14,071	176,056	2,277	6	2,283
八 戸 工 業 大 学	2,126	103,688	26,802	130,490	508	0	508
弘 前 学 院 大 学	1,280	92,061	19,610	111,671	1,104	43	1,147
青森中央学院大学・同短期大学	2,137	95,955	5,403	101,358	1,443	2	1,445
岩 手 医 科 大 学	5,054	159,042	136,694	295,736	735	353	1,088
富 士 大 学	1,225	175,019	31,049	206,068	1,068	12	1,080
盛 岡 大 学	2,081	164,832	22,277	187,109	2,440	81	2,521
修 紅 短 期 大 学	205	15,833	230	16,063	487	0	487
仙 台 大 学	1,120	125,773	18,169	143,942	3,219	130	3,349
仙台白百合女子大学	1,446	89,916	10,407	100,323	325	92	417
石 巻 専 修 大 学	3,496	121,574	63,451	185,025	802	213	1,015
東 北 学 院 大 学 中 央	7,602	473,504	293,943	767,447	3,445	930	4,375
〃 泉キャンパス	6,100	244,295	108,404	352,699	2,550	511	3,061
〃 多賀城キャンパス	2,899	94,749	43,102	137,851	965	66	1,031
東 北 工 業 大 学	2,977	188,757	55,961	244,718	3,289	302	3,591
東 北 福 祉 大 学	4,803	347,042	75,073	422,115	3,071	617	3,688
東 北 文 化 学 園 大 学	1,744	121,473	15,946	137,419	2,182	24	2,206
東 北 医 科 薬 科 大 学	2,036	68,130	42,147	110,277	1,126	30	1,156
〃 学分館	579	10,775	476	11,251	1,130	0	1,130
宮 城 学 院 女 子 大 学	3,216	303,624	105,974	409,598	241	738	979
尚 綱 学 院 大 学	2,337	142,796	26,552	169,348	2,251	240	2,491
聖 和 学 園 短 期 大 学	427	59,140	1,284	60,424	589	3	592
仙台青葉学院短期大学	356	31,435	2,017	33,452	2,044	30	2,074
東北生活文化大学・同短期大学部	660	66,655	5,512	72,167	389	8	397
ノースアジア大学	1,689	181,208	20,459	201,667	981	31	1,012
東 北 芸 術 工 科 大 学	1,795	140,092	16,268	156,360	1,357	36	1,393
羽 陽 学 園 短 期 大 学	705	64,452	2,451	66,903	949	0	949
東北文教大学・同短期大学部	1,533	118,941	8,506	127,447	1,284	51	1,335
東 北 公 益 文 科 大 学	1,517	103,481	12,216	115,697	1,434	91	1,525
医 療 創 生 大 学	4,860	216,854	59,919	276,773	913	66	979
奥 羽 大 学	2,062	149,349	94,614	243,963	366	18	384
郡 山 女 子 大 学	1,651	119,509	13,809	133,318	834	0	834
東 日 本 国 際 大 学	1,221	78,334	10,718	89,052	1,250	0	1,250
日本大学工学部分館	5,006	202,516	117,345	319,861	917	228	1,145
桜 の 聖 母 短 期 大 学	642	53,819	9,595	63,414	666	10	676
福 島 学 院 大 学	1,990	82,913	6,070	88,983	1,041	39	1,080

(2) 利用状況

(令和2年度分)

図書館名	図書館利用状況						文献複写		
	対象 学生数	学生：館外貸出		対象 職員数	教職員：館外貸出		学内分	学外分	計
		人 員	冊 数		人 員	冊 数			
弘 前 大 学	人	人	冊	人	人	冊	件	件	件
" 医学部分館	6,912	15,504	26,597	3,410	1,797	3,661	229	531	760
岩 手 大 学	1,768	4,378	8,285	1,875	769	1,241	78	1,619	1,697
東 北 大 学	5,439	11,033	23,280	732	1,318	2,568	1,259	894	2,153
" 医学分館	18,040	43,501	90,465	10,330	6,760	17,051	1,918	2,393	4,311
" 北青葉山分館	3,694	2,959	4,995	5,604	918	1,606	406	3,262	3,668
" 工学分館	2,920	7,794	12,897	954	954	1,553	65	605	670
" 農学分館	8,741	8,072	16,462	2,759	1,063	2,253	218	642	860
宮 城 教 育 大 学	1,070	2,915	4,816	188	699	1,306	91	319	410
秋 田 大 学	1,577	6,330	15,048	495	1,116	3,509	91	372	463
" 医学部分館	5,188	2,744	10,659	2,599	517	2,092	527	327	854
山 形 大 学	1,441	463	926	1,690	268	541	682	1,482	2,164
" 小川図書館	4,290	3,601	9,629	716	898	2,077	245	773	1,018
" 医学部図書館	987	1,448	2,365	1,927	229	482	54	1,859	1,913
" 工学部図書館	3,546	2,436	4,996	456	169	557	6	92	98
" 農学部図書館	629	617	1,350	131	149	259	18	61	79
福 島 大 学	4,345	7,158	16,279	772	1,214	3,370	1,530	1,213	2,743
青 森 公 立 大 学	1,284	2,869	5,730	136	404	964	29	47	76
青 森 県 立 保 健 大 学	963	7,027	18,583	411	813	2,413	888	533	1,421
岩 手 県 立 大 学	2,365	7,209	14,842	533	1,405	3,283	1,475	137	1,612
宮城大学大和キャンパス	1,329	—	2,652	278	—	889	554	543	1,097
宮城大学太白キャンパス	570	—	1,296	85	—	425	124	86	210
秋 田 県 立 大 学	1,848	—	19,227	435	—	3,748	627	200	827
秋 田 公 立 美 術 大 学	466	1,718	3,328	123	321	596	16	8	24
国 際 教 養 大 学	947	—	738	202	—	551	29	16	45
山形県立保健医療大学	453	1,499	2,943	83	460	1,291	376	287	663
山 形 県 公 立 大 学	765	2,676	5,455	151	218	551	502	101	603
会 津 大 学	1,301	4,298	9,207	157	589	1,179	9	163	172
" 短期大学部	311	1,211	2,687	175	493	1,734	223	32	255
福 島 県 立 医 科 大 学	1,499	2,945	6,242	3,505	1,345	3,752	—	1,919	1,919
柴 田 学 園 大 学	286	700	1,184	91	72	521	6,345	7	6,352
八 戸 工 学 院 大 学	942	1,434	2,782	170	866	2,711	411	68	479
八 戸 工 業 大 学	1,198	176	814	134	24	299	16	53	69
弘 前 学 院 大 学	732	1,084	1,941	172	233	890	312	4	316
青森中央学院大学・同短期大学	1,374	553	4,325	326	75	895	6	371	377
岩 手 医 科 大 学	2,132	2,448	4,537	4,424	1,784	4,041	382	2,582	2,964
富 士 大 学	802	589	1,038	150	142	329	211	229	440
盛 岡 大 学	1,945	2,309	5,937	192	411	1,208	1,079	104	1,183
修 紅 短 期 大 学	125	577	1,076	51	229	946	2	0	2
仙 台 大 学	2,664	380	682	119	162	574	—	2	2
仙 台 百 合 女 子 大 学	916	923	1,295	94	194	514	1,800	46	1,846
石 巻 専 修 大 学	1,364	276	621	228	170	851	105	181	286
東 北 学 院 大 学 中 央	11,198	2,784	5,814	1,165	1,091	2,752	2,353	560	2,913
" 泉キャンパス	11,198	2,395	4,829	1,165	847	2,108	378	179	557
" 多賀城キャンパス	11,198	557	1,177	1,165	234	536	75	113	188
東 北 工 業 大 学	3,545	1,463	3,003	229	589	1,922	47	0	47
東 北 福 祉 大 学	5,887	630	2,150	773	1,203	3,338	128	74	202
東 北 文 化 学 園 大 学	2,435	2,793	5,032	698	1,048	2,695	154	111	265
東 北 医 科 大 学	2,505	241	480	1,897	131	324	131	69	200
" 医学分館	2,505	1,263	2,276	1,897	578	1,334	65	68	133
宮 城 学 院 女 子 大 学	3,244	4,389	10,566	635	1,081	3,215	432	740	1,172
尚 綱 学 院 大 学	2,108	1,118	2,958	265	539	1,982	75	28	103
聖 和 学 園 短 期 大 学	490	1,084	1,366	157	245	586	38	1	39
仙 台 青 葉 学 院 短 期 大 学	1,718	3,877	6,752	312	687	1,822	47	58	105
東北生活文化大学・同短期大学部	565	—	571	91	—	369	25	4	29
ノースアジア大学	858	591	982	137	178	700	92	24	116
東 北 芸 術 工 科 大 学	2,467	4,794	12,882	373	470	1,185	365	82	447
羽 陽 学 園 短 期 大 学	209	959	3,181	59	73	357	—	5	5
東北文教大学・同短期大学部	744	1,736	3,367	196	193	565	114	1	115
東 北 公 益 文 科 大 学	991	—	5,612	100	—	1,274	122	100	222
医 療 創 生 大 学	1,162	1,646	3,896	175	345	1,107	581	31	612
奥 羽 大 学	1,041	2,090	2,991	451	689	1,216	610	57	667
郡 山 女 子 大 学	868	—	785	185	—	463	112	33	145
東 日 本 国 際 大 学	823	562	1,310	175	185	524	6	8	14
日本大学工学部分館	4,516	1,069	2,395	365	230	4,725	172	473	645
桜 の 聖 母 短 期 大 学	280	1,000	2,029	86	247	613	—	13	13
福 島 学 院 大 学	727	955	1,455	105	207	363	—	22	22

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数

(令和2年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数		
	和	洋	計	和	洋	計
弘前大学	種14,639	種3,860	種18,499	種1,349	種66	種1,415
〃 医学部分館	4,166	2,471	6,637	467	94	561
岩手大学	9,340	2,178	11,518	6,444	247	6,691
東北大学	27,515	17,693	45,208	3,347	1,801	5,148
〃 医学分館	5,482	9,424	14,906	624	847	1,471
〃 北青葉山分館	2,767	8,824	11,591	509	988	1,497
〃 工学分館	3,980	4,371	8,351	597	515	1,112
〃 農学分館	4,368	2,301	6,669	747	223	970
宮城教育大学	2,270	643	2,913	241	27	268
秋田大学	6,684	2,609	9,293	419	32	451
〃 医学部分館	2,159	1,792	3,951	329	33	362
山形大学小白川図書館	10,061	3,203	13,264	714	35	749
〃 医学部図書館	3,133	1,877	5,010	252	19	271
〃 工学部図書館	2,052	1,386	3,438	393	75	468
〃 農学部図書館	2,632	623	3,255	164	6	170
福島大学	10,989	2,766	13,755	1,559	77	1,636
青森公立大学	388	714	1,102	160	13	173
青森県立保健大学	947	241	1,188	488	9	497
岩手県立大学	673	459	1,132	307	67	374
宮城大学大和キャンパス	1,967	489	2,456	441	42	483
宮城大学太白キャンパス	2,249	259	2,508	226	36	262
秋田県立大学	2,810	1,052	3,862	656	145	801
秋田公立美術大学	81	22	103	60	21	81
国際教養大学	107	124	231	69	40	109
山形県立保健医療大学	1,107	227	1,334	177	7	184
山形県公立大学	226	37	263	120	12	132
会津大学	630	834	1,464	179	4	183
会津大学短期大学部	102	88	190	128	16	144
福島県立医科大学	4,612	3,103	7,715	665	57	722
柴田学園大学	88	45	133	67	15	82
八戸学院	163	7	170	163	7	170
八戸工業大学	806	613	1,419	69	4	73
弘前学院大学	718	43	761	96	16	112
青森中央学院大学・同短期大学	239	76	315	161	49	210
岩手医科大学	5,693	2,590	8,283	1,280	87	1,367
富士大学	3,377	251	3,628	714	33	747
盛岡大学	2,556	259	2,815	252	43	295
修紅短期大学	0	5	5	45	1	46
仙台大学	1,316	163	1,479	109	44	153
仙台白百合女子大学	325	92	417	183	28	211
石巻専修大学	1,329	820	2,149	187	36	223
東北学院大学中央	7,854	2,458	10,312	1,372	144	1,516
〃 泉キャンパス	2,813	1,147	3,960	581	95	676
〃 多賀城キャンパス	1,856	1,408	3,264	351	93	444
東北工業大学	1,197	1,043	2,240	115	1,596	1,711
東北福祉大学	3,856	641	4,497	1,644	113	1,757
東北文化学園大学	1,131	136	1,267	248	20	268
東北医科薬科大学	559	487	1,046	163	22	185
〃 医学分館	117	57	174	50	5	55
宮城学院女子大学	5,747	767	6,514	1,144	116	1,260
尚綱学院大学	938	180	1,118	140	100	240
聖和学園短期大学	430	4	434	337	0	337
仙台青葉学院短期大学	329	31	360	150	20	170
東北生活文化大学・同短期大学部	182	39	221	81	8	89
ノースアジア大学	2,053	306	2,359	447	43	490
東北芸術工科大学	227	129	356	225	37	262
羽陽学園短期大学	136	17	153	72	0	72
東北文教大学・同短期大学部	1,245	44	1,289	350	10	360
東北公益文科大学	192	44	236	88	31	119
医療創生大学	921	500	1,421	67	13	80
奥羽大学	1,168	1,253	2,421	272	27	299
郡山女子大学	913	91	1,004	126	3	129
東日本国際大学	244	94	338	46	2	48
日本大学工学部分館	1,104	1,368	2,472	120	65	185
桜の聖母短期大学	116	30	146	69	9	78
福島学院大学	107	39	146	55	8	63

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当 番 大 学	回	年	当番地区	当 番 大 学
	昭和				平成		
1	22	宮 城	東 北 大 学	44	元	山 形	山 形 大 学
2	23	〃	仙 台 工 業 専 門 学 校	45	2	青 森	弘 前 大 学
3	24	〃	東 北 学 院 大 学	46	3	宮 城	石 巻 専 修 大 学
4	24	〃	東 北 大 学	47	4	岩 手	富 士 大 学
5	25	岩 手	岩 手 大 学	48	5	福 島	郡 山 女 子 大 学
6	26	山 形	山 形 大 学	49	6	宮 城	東 北 薬 科 大 学
7	27	青 森	弘 前 大 学	50	7	秋 田	秋 田 経 済 法 科 大 学
8	28	福 島	福 島 大 学	51	8	山 形	山 形 大 学
9	29	秋 田	秋 田 大 学	52	9	宮 城	東 北 工 業 大 学
10	30	宮 城	宮 城 学 院 女 子 大 学	53	10	青 森	青 森 公 立 大 学
11	31	岩 手	岩 手 医 科 大 学	54	11	岩 手	盛 岡 大 学 ・ 盛 岡 短 期 大 学
12	32	山 形	山 形 大 学	55	12	宮 城	宮 城 教 育 大 学
13	33	秋 田	秋 田 大 学	56	13	福 島	奥 羽 大 学
14	34	青 森	弘 前 大 学	57	14	秋 田	秋 田 県 立 大 学
15	35	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	58	15	宮 城	東 北 福 祉 大 学
16	36	宮 城	東 北 大 学	59	16	山 形	山 形 大 学
17	37	岩 手	岩 手 大 学	60	17	青 森	青 森 大 学 ・ 青 森 短 期 大 学
18	38	福 島	福 島 大 学	61	18	宮 城	宮 城 大 学
19	39	宮 城	東 北 学 院 大 学	62	19	岩 手	岩 手 県 立 大 学
20	40	秋 田	秋 田 大 学	63	20	福 島	い わ き 明 星 大 学
21	41	山 形	山 形 大 学	64	21	宮 城	仙 台 白 百 合 女 子 大 学
22	42	宮 城	東 北 薬 科 大 学	65	22	秋 田	国 際 教 養 大 学
23	43	青 森	弘 前 大 学	66	23	山 形	山 形 大 学
24	44	岩 手	奥 州 大 学	67	24	宮 城	東 北 大 学
25	45	宮 城	東 北 工 業 大 学	68	25	青 森	八 戸 工 業 大 学
26	46	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学	69	26	岩 手	岩 手 大 学
27	47	秋 田	秋 田 経 済 大 学	70	27	宮 城	宮 城 教 育 大 学
28	48	宮 城	宮 城 教 育 大 学	71	28	福 島	福 島 大 学
29	49	山 形	山 形 大 学	72	29	秋 田	秋 田 公 立 美 術 大 学
30	50	青 森	弘 前 大 学	73	30	宮 城	東 北 学 院 大 学
31	51	宮 城	東 北 大 学		令和		
32	52	岩 手	岩 手 大 学	74	元	山 形	山 形 大 学
33	53	福 島	福 島 大 学	75	2	青 森	弘 前 大 学
34	54	宮 城	東 北 福 祉 大 学	76	3	宮 城	宮 城 大 学
35	55	秋 田	秋 田 大 学	77	4	岩 手	(岩 手 医 科 大 学)
36	56	山 形	山 形 大 学	78	5	福 島	
37	57	宮 城	宮 城 学 院 女 子 大 学	79	6	宮 城	
38	58	青 森	弘 前 大 学	80	7	秋 田	
39	59	岩 手	岩 手 医 科 大 学	81	8	山 形	
40	60	宮 城	東 北 大 学				
41	61	福 島	福 島 県 立 医 科 大 学				
42	62	秋 田	秋 田 大 学				
43	63	宮 城	東 北 学 院 大 学				

※第 72 回総会において、81 回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧

回次	常 任	幹 事 館		監 査 館		審査委員館（平成19年8月までは論文審査館）		
（任期）	幹事館	（国立）	（公立）	（私立）	（公立）	（国立）	（公立）	（私立）
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学 岩手大学	東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学	宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大 山形県立米沢女子短期大学	東北工業大学 日本大学工学部
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大 岩手県立宮古短期大学	仙台大 郡山女子大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大 岩手県立宮古短期大学	仙台大 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大 盛岡大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大 東北工業大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学大学	岩手県立大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森県立保健大学	仙台大 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大	福島県立医科大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大 仙台大
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北 文教大学短期大学部	山形県立保健医療大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北 文教大学短期大学部
第68回総会 (H25.9～H27.8)	東北大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子 短期大学	東北学院大学 八戸学院大学	秋田公立美術大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学
第70回総会 (H27.9～H29.8)	東北大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学	宮城大学	東北大学 岩手大学	秋田公立美術大学	東北学院大学 青森中央学院大学
第72回総会 (H29.9～R1.8)	東北大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学	岩手県立大学	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	修紅短期大学 聖和学園短期大学
第74回総会 (R1.9～R3.8)	東北大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	仙台青葉学院短期大学 東北芸術工科大学	青森公立大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北学院大学 八戸工業大学
第76回総会 (R3.9～R5.8)	東北大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北 生活文化大学短期大学部 奥羽大学	会津大学短期大学部	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	東北生活文化大学・東北 生活文化大学短期大学部 奥羽大学

東北地区大学図書館協議会会則

昭和 22 年 5 月 30 日 制定

令和 2 年 9 月 30 日 最近改正

改正：昭和 28 年 11 月 13 日（第 1 条（名称）改正）、昭和 29 年 6 月 11 日（第 7 条（会費）、第 8 条（票決権）

改正）、昭和 31 年 10 月 5 日（第 6 条（監査館）追加）、昭和 33 年 10 月 7 日（第 5 条（顧問）追加）、昭和 34 年 8 月 4 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 39 年 7 月 9 日（第 9 条（会費）改正・同第 2 項（会計年度）制定）、昭和 43 年 5 月 10 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 46 年 5 月 13 日（第 9 条（会費）改正）、昭和 50 年 5 月 16 日（第 2 条（加盟組織の追加）改正）、昭和 53 年 10 月 19 日（第 9 条（会費・会計年度）改正）、昭和 56 年 10 月 22 日（第 6 条（幹事館を追加）改正）、昭和 61 年 9 月 25 日（第 9 条（会費）改正）、平成 3 年 9 月 26 日（第 9 条（会費）改正）、平成 6 年 9 月 21 日（第 9 条（会費）改正）、令和 2 年 9 月 30 日（第 9 条（会費）改正）

第 1 条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第 2 条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第 3 条 本会は毎年 1 回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第 4 条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会を開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第 5 条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。

第 6 条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも 1 回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。

但し、重任することができる。

第 7 条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を 2 カ年とする。但し、重任することができる。

第 8 条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第 9 条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額 12,000 円とする。

2 本会の会計年度は毎年 9 月 1 日にはじまり、翌年 8 月 31 日に終わる。

第 10 条 総会の票決権は 1 館につき 1 票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第 11 条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和 24 年 12 月 2 日から施行する。

(略)

附 則（昭和 53 年 10 月 19 日第 33 回総会）

この改正による会則は、昭和 53 年 10 月 19 日から施行し、昭和 54 年 9 月 1 日から適用する。

附 則（昭和 56 年 10 月 22 日第 36 回総会）

この改正による会則は、昭和 56 年 10 月 24 日から施行し、昭和 56 年 10 月 24 日から適用する。

附 則（昭和 61 年 9 月 25 日第 41 回総会）

この改正による会則は昭和 61 年 9 月 27 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 26 日第 46 回総会）

@ この改正による会則は平成 3 年 9 月 26 日から施行する。

附 則（平成 6 年 9 月 21 日第 49 回総会）

この会則は、平成6年9月21日から施行する。

附 則（令和2年9月30日第75回総会）

この会則は、令和2年9月1日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の改選について

常任幹事館から、役員の任期（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- （1）図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- （2）協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

- 2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
- 3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
- 4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

- 2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
- 3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成 19 年 9 月 20 日制定

- 第 1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第 7 条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第 2 規程第 2 条第 1 号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
 - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
 - (3) 前 2 号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第 3 規程第 2 条第 2 号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に 5 年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第 4 規程第 3 条の推薦の期日は、毎年 5 月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
 - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第 5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第 6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第 7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第 8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第 9 審査委員館は、当分の間、会則第 6 条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第 10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の 7 月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第 11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第 12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

- 1 この取扱要項は、平成 19 年 9 月 20 日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成 2 年 9 月 20 日制定）は、廃止する。

表彰状様式 1（第 2 条第 1 号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものとあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

表彰状様式 2（第 2 条第 2 号該当者）

表 彰 状

殿

あなたは本協議会の運営に尽力されとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号
平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館
〇 〇 大学附属図書館長 殿

〇 〇 大学（附属）図書館長
〇 〇 〇 〇 公印

表 彰 者 の 推 薦 に つ い て

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記
〇 〇 〇 〇

別紙（第2条第1号該当者）

表 彰 者 推 薦 調 書

〇 〇 大学（附属）図書館

職 名		氏 名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推 薦 理 由								
業 績 等	研 究 の テ ー マ 又 は 調 査 事 項							
	発 表 集 会 等 名							
	発 表 年 月 日							
	掲 載 誌 名 及 び 巻 号							
	発 行 年 月 日							
	発 行 機 関							
	発表者又は著者名							
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 （有の場合当該組織名）								
図 書 館 業 務 歴								

- 備考
- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
 - 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
 - 3) その他参考となる資料を添付すること。

表彰者推薦調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履歴事項								
年		月		日		勤務内容等（大学等名及び業務）		
		～						
		～						
		～						
		～						
		～						
		～						
		～						
		～						
		～						
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

制定 平成 20 年 9 月 18 日

改正 平成 30 年 2 月 1 日

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 部会が主体となって実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修への協力
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。

2 東北地区大学図書館協議会研修検討 WG は、廃止する。

附 則

この要項は、平成 30 年 2 月 1 日から施行する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和 57 年 10 月 14 日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の 10%を限度とする。
2. 期間は昭和 57 年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成 14 年 9 月 20 日 第 57 回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第 56 回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成 12 年 4 月 20 日 第 31 回国立

大学図書館東北地区協議会決定

平成 16 年 4 月 22 日 第 35 回東北

地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第 1 条 国立大学図書館協会東北地区協会会則（以下「会則」という。）第 2 条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第 2 条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第 3 条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年 1 回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第 4 条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第 5 条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第 5 条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成 12 年 4 月 20 日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成 16 年 4 月 22 日から施行する。

2 第 2 条 2 項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第 5 条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成 12 年 9 月 20 日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第 1 条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第 2 条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第 3 条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第 4 条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りといない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年 1 回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第 5 条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第 6 条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成 12 年 9 月 20 日から施行する。

東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成 24 年 10 月 19 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第 3 条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2 人
- 二 公立大学部会の委員 1 人
- 三 私立大学部会の委員 3 人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 24 年 10 月 19 日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第 5 条本文の規定にかかわらず、平成 25 年 8 月 31 日までとする。

東北地区大学図書館協議会加盟館名簿

令和4年4月1日現在

図書館名 (国立 15 館)		電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等 氏 名	事務責任者等 氏 名
1	弘前大学附属図書館	(0172)39-3155	036-8560 青森県弘前市文京町 1 jm3155@hirosaki-u.ac.jp	図書館長（併：教授） 羽瀨 一代	事務長 三上 豊
2	岩手大学図書館	(019)621-6082	020-8550 盛岡市上田三丁目 18-8 lsomu@iwate-u.ac.jp	図書館長 (併副学長：情報統括・図書館担当) 山本 欣郎	学術情報課長 庭田 昌紀
3	東北大学附属図書館	(022)795-5911	980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 lib-som@grp.tohoku.ac.jp	図書館長（併：副学長） 大隅 典子 副館長（併：教授） 有光 秀行	事務部長 小陳 左和子
4	同医学分館	(022)717-7973	980-8575 仙台市青葉区星陵町 1-1 lib-med2@grp.tohoku.ac.jp	医学分館長（併：教授） 藤森 研司	専門員 照内 弘通
5	同北青葉山分館	(022)795-6368	980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 klib-k@grp.tohoku.ac.jp	北青葉山分館長（併：教授） 土井 隆行	図書係長 代田 有紗
6	同工学分館	(022)795-5892	980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-03 elib-k@grp.tohoku.ac.jp	工学分館長（併：教授） 金井 浩	専門員 横山 美佳
7	同農学分館	(022)757-4022	980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 alib@grp.tohoku.ac.jp	農学分館長（併：教授） 大越 和加	図書係長 勝本 加奈子
8	宮城教育大学 附属図書館	(022)214-3348	980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 library@grp.miyako-u.ac.jp	図書館長（併：副学長） 前田 順一	学術情報課長 大沼 忠弘
9	秋田大学附属図書館	(018)889-2273	010-8502 秋田市手形学園町 1-1 libsomu@jimu.akita-u.ac.jp	図書館長（併：教授） 山本 浩史	図書館・情報推進課長 藤井 和明
10	同医学部分館	(018)884-6052	010-8543 秋田市本道 1 丁目 1-1 ibun@jimu.akita-u.ac.jp	分館長（併：教授） 八月朔日 泰和	主任 工藤 友美子
	山形大学附属図書館	(023)628-4015	990-8560 山形市小白川町 1-4-12 yu-jmtosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	学生支援担当理事 矢作 清	エンロールメント・ マネジメント部長 小山 和佳
11	山形大学小白川図書館	(023)628-4914	990-8560 山形市小白川町 1-4-12 yu-kjtosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	図書館長（併：教授） 池田 光則	運営支援課長 佐藤 俊次
12	同医学部図書館	(023)628-5054	990-9585 山形市飯田西 2 丁目 2-2 yu-itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	医学部図書館長（併：教授） 村上 正泰	係長 會田 忠弘
13	同工学部図書館	(0238)26-3019	992-8510 山形県米沢市城南 4 丁目 3-16 yu-koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	工学部図書館長（併：教授） 安田 宗樹	主任 高橋 圭
14	同農学部図書館	(0235)28-2810	997-8555 鶴岡市若葉町 1-23 yu-notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp	農学部図書館長（併：教授） 堀口 健一	係長 原 夏子
15	福島大学附属図書館	(024)548-8083	960-1293 福島市金谷川 1 番地 k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp	図書館長（副学長） 新田 洋司	学術情報課長 木村 勝典

図書館名 (公立 12館)		電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
				氏 名	氏 名
16	青森公立大学図書館	(017)764-1551	030-0196 青森市合子沢山崎 153-4 lib@b.nebuta.ac.jp	図書館長（併：教授）	教務・学生チーム主査
				香取 真理	一町田 学
17	青森県立保健大学 附属図書館	(017)765-2011	030-8505 青森市大字浜館字間瀬 58-1 library@auhw.ac.jp	図書館長（併：教授）	経営企画室副参事 (図書課長兼務)
				川内 規会	坂上 博章
18	岩手県立大学 メディアセンター	(019)694-2070	020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52 library@ml.iwate-pu.ac.jp	メディアセンター長（併：教授）	教育支援室長
				猪股 俊光	
				宮古短期大学部図書館長 (併：准教授)	関屋 一博
				昇高 茂樹	
19	宮城大学学術情報センター (大和キャンパス図書館)	(022)377-8313	981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 tosho@myu.ac.jp	学術情報センター長（併：教授）	事務局学務課 学術情報室長
				茅原 拓朗	吉川 陽大
	宮城大学学術情報センター (太白キャンパス図書館)	(022)245-1046	982-0215 仙台市太白区旗立 2-2-1 f-tosho@myu.ac.jp	学術情報センター長（併：教授）	事務局太白事務室 教務・学生支援 グループリーダー
				茅原 拓朗	高野 義仁
20	秋田県立大学附属図書館	(018)872-1561	010-0195 秋田市下新城中野字街道 端西 241-438 a_library@akita-pu.ac.jp	図書館長（副学長）	事務局次長
				吉澤 結子	鈴木 修
21	秋田公立美術大学 附属図書館	(018)888-8106	010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 library01@akibi.ac.jp	図書館長（併：教授）	総務課長補佐 兼 附属図書館事務長
				天貝 義教	進藤 英樹
22	国際教養大学 中嶋記念図書館	(018)886-5907	010-1292 秋田市雄和字奥椿岱 193-2 lib1@aiu.ac.jp	図書館長（併：教授）	学修支援室長
				豊田 哲也	須田 幸子
23	山形県立保健医療大学 附属図書館	(023)686-6671	990-2212 山形市上柳 260 番地 kanri@yachts.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書・調整主査
				菅原 京子	菅井 猛信
24	山形県立大学法人 附属図書館	(0238)22-7334	992-0025 米沢市通町 6-15-1 tosho@yone.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書館管理主査
				小池 隆太	佐藤 由香理
25	会津大学情報センター 附属図書館	(0242)37-2544	965-8580 会津若松市一箕町鶴賀 library@u-aizu.ac.jp	情報センター長（併：教授）	情報センター主幹 兼 事務長
				北道 淳司	五十嵐 卓児
26	会津大学短期大学部 附属図書館	(0242)37-2458	965-8570 会津若松市一箕町大字 八幡字門田 1-1 tosho@jc.u-aizu.ac.jp	図書館長（併：教授）	
				柴崎 恭秀	
27	福島県立医科大学 附属学術情報センター	(024)547-1687	960-1297 福島市光が丘 1 lib@fmu.ac.jp	附属学術情報センター長 (併：教授)	総務課長 兼 学術情報室長
				矢部 博興	松山 政行

図書館名 (私立 36館)		電話番号	住所、E-mail	図書館長・センター長等	事務責任者等
				氏 名	氏 名
28	柴田学園大学 附属図書館	(0172)33-2289	036-8530 弘前市大字清原 1 丁目 1-16 univ_tosyokan@shibata.ac.jp	図書館長（併：教授）	坂本 友美
				富田 雅弘	
29	八戸学院図書館	(0178)30-1695	031-8588 八戸市美保野 13-98 tosyokan@hachinohe-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書館事務室長
				奈良 卓	織戸 浩
30	八戸工業大学図書館	(0178)25-8032	031-8501 八戸市大字妙字大開 88-1 tosyo@hi-tech.ac.jp	図書館長（教授）	事務長代行
				鈴木 寛	谷津 昌樹
31	弘前学院大学 附属図書館	(0172)34-5211	036-8577 弘前市稔町 13-1 sisyo2@hirogaku-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	
				佐藤 和博	
32	青森中央学院大学・ 青森中央短期大学 図書館情報センター	(017)728-0131	030-0132 青森市横内字神田 12 番地 lib@aomoricgu.ac.jp	図書館情報センター長 （併：教授）	（併）学事担当次長
				北原 かな子	石田 智久
33	岩手医科大学 附属図書館	(019)651-5111	028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医 大通 1-1-1 tosho@j.iwate-med.ac.jp	図書館長（併：教授）	総括課長
				古山 和道	
				副館長（併：教授）	川崎 かおる
				原田 英光	
34	富士大学図書館	(0198)22-4986	025-8501 岩手県花巻市下根子 450 番地 3 tosyokan@fuji-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	課長
				早川 光彦	佐藤 育子
35	盛岡大学図書館	(019)688-5561	020-0694 岩手県滝沢市砂込 808 library@morioka-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	事務室長
				上白石 実	
				副館長（併：准教授）	畑村 とも子
				吉植 庄栄	
36	修紅短期大学図書館	(0191)24-2211	021-0902 岩手県一関市萩荘字竹際 49-1 library@shuko.ac.jp	図書館長（併：学科長・教授）	職員（司書補）
				鈴木 美樹子	齋藤 美紀子
37	仙台大学附属図書館	(0224)55-1399	989-1693 宮城県柴田郡柴田町 船岡南 2-2-18 library@sendai-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	課長
				齋藤 浩二	今村 絵里香
38	仙台白百合女子大学 図書館	(022)374-5090	981-3107 仙台市泉区本田町 6-1 library@sendai-shirayuri.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書館事務長
				佐々木 裕子	石岡 宏美
39	石巻専修大学図書館	(0225)22-7718	986-8580 石巻市南境新水戸 1 lib@isenshu-u.ac.jp	図書館長（教授）	事務次長
				松崎 俊之	尾崎 由明
40	東北学院大学図書館 (中央図書館)	(022)264-6493	980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書情報課長
				松村 尚彦	佐々木 徳貴
41	同工学部分館 (多賀城キャンパス図書館)	(022)368-1206	985-8537 多賀城市中央 1-13-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	分館長（併：教授）	図書情報課課長補佐
				斎藤 修	鈴木 文明
42	同泉分館 (泉キャンパス図書館)	(022)375-1174	981-3193 仙台市泉区天神沢 2-1-1 lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp	分館長（併：教授）	図書情報課係長
				津上 誠	森谷 真由美
43	東北工業大学 附属図書館	(022)305-3178	982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1 library-yagiyama@tohtech.ac.jp	図書館長（教授）	図書館事務長（兼務）
				高橋 秀太郎	目黒 裕二

44	東北福祉大学図書館	(022) 717-3319	981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8-1 lib@tfu.ac.jp	図書館長（教授）	課長
				鍛代 敏雄	本間 雅人
45	東北文化学園大学総合情報センター図書館	(022) 233-3878	981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1 lib@office.tbgu.ac.jp	総合情報センター長（併：教授）	事務室課長代理
				鈴木 伸夫	松浦 宝志
46	東北医科薬科大学附属図書館	(022) 727-0061	981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1 library@tohoku-mpu.ac.jp	図書館長（併：教授）	学務部図書館事務課 課長
				久下 周佐	
				医学分館長（併：教授）	畑中 亨
				高木 徹也	
47	宮城学院女子大学図書館	(022) 279-5658	981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1 library@mgu.ac.jp	図書館長（併：教授）	庶務課長
				大橋 智樹	桜井 由美
48	尚絅学院大学図書館	(022) 381-3440	981-1295 名取市ゆりが丘4-10-1 library@shokei.ac.jp	図書館長（併：教授）	教育研究支援課長
				小原 俊文	佐々木 真也
49	聖和学園短期大学図書館	(022) 376-8257	981-3213 仙台市泉区南中山5-5-2 seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp	図書館長（併：教授）	
				佐々木 貴弘	
50	仙台青葉学院短期大学図書館	(022) 369-8003	984-0022 仙台市若林区五橋3-5-75 lib@seiyogakuin.ac.jp	図書館長（併：教授）	
				伊藤 てる子	
51	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	(022) 272-7518	981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目18-2 library@mishima.ac.jp	図書館長（併：教授）	
				伊藤 常久	
52	ノースアジア大学附属図書館	(018) 836-2406	010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 naulib@nau.ac.jp	図書館長（併：教授）	教務次長
				藤本 剛	高橋 裕之
53	東北芸術工科大学図書館	(023) 627-2044	990-9530 山形市上桜田3-4-5 library@aga.tuad.ac.jp	教学1課リーダー	
				小野 瑠美	
54	羽陽学園短期大学附属図書館	(023) 655-2385	994-0065 山形県天童市大字清池1559 tosho@uyo.ac.jp	図書館長（併：准教授）	係長
				大関 嘉成	高橋 明子
55	東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	(023) 688-7544	990-2316 山形市片谷地515 library@t-bunkyo.ac.jp	図書館長（併：教授）	係長
				松田 浩平	青柳 友恵
56	東北公益文科大学図書館	(0234) 41-1177	998-8580 酒田市飯森山3-5-1 media@koeki-u.ac.jp	図書館長（併：准教授）	図書館・IMC事務室 事務長
				西村 まどか	小松 奈保美
57	医療創生大学図書館	(0246) 29-7121	970-8551 福島県いわき市中央台飯野5-5-1 library@isu.ac.jp	図書館長（併：教授）	図書館事務室課長
				小池 久恵	半澤 智祐
58	奥羽大学図書館	(024) 932-9061	963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp	図書館長	主任
				安藤 勝	小林 克也
59	郡山女子大学図書館	(024) 932-4848	963-8503 福島県郡山市開成3-25-2 library@koriyama-kgc.ac.jp	図書館長（併：教授）	司書係長（併）講師
				齋藤 美保子	
				副館長（併：教授）	和知 剛
				桑野 聡	

60	東日本国際大学・ いわき短期大学 昌平図書館	(0246)35-0416	970-8567 福島県いわき市平鎌田 字寿金沢 37 番地 shk_lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp	図書館長（併：教授）	課長
				三重野 徹	織内 春江
61	日本大学図書館 工学部分館	(024)956-8642	963-8642 福島県郡山市田村町徳定 字中河原 1 ceb.toshokan@nihon-u.ac.jp	工学部分館長（併：教授）	図書館事務課長
				加瀬澤 正	高橋 史典
62	桜の聖母短期大学 図書館情報センター	(024)534-7137	960-8585 福島県福島市花園町 3-6 lib-c@ssjc.ac.jp	図書館情報センター長	安田 ゆう子 川村 瑠莉花
				遠藤 修司	
63	福島学院大学 図書館情報センター	(024)553-2087	960-0181 福島市宮代乳児池 1-1 tosho@fukushima-college.ac.jp	図書館長（併：教授）	司書
				梅宮 れいか	斎藤 多美子

かけがえのない図書・資料を守ります

日本ファイリングの カビ対策

貴重な資料に、カビの酵素が原因で紙の力が極端に落ちる「老け」や「シミ」が発生することがあります。カビは人体にとっても有害である上、条件さえ整えば瞬間に大量繁殖します。日本ファイリングは多数の実績に基づいた、被害の状況に応じた処置やカビ対策をご提供いたします。

3種のサービスを用意しています。
発生してしまったカビの規模・程度に応じて
最適なサービスをご提案いたします。

コストとカビ被害への対応を基にした
提供サービスのイメージ



低コストで防カビ・防虫ができる無酸素パック

モルデナイベ

バリアフィルム内を無酸素状態にすることで、カビの発生を防ぎます。水損した図書に対しても、高い防カビ効果を上げた実績があります。



簡単確実に密封できます

現地で出来るクリーニングサービス

カビ除去サービス

発生状況を確認し、現地でカビを確実に不活化します。図書だけでなく書架等の周辺環境のクリーニングも承ります。



ウェットクリーニング

図書内部までの完全な殺カビ

殺カビサービス

カビが発生してしまった図書を専用チャンバーで真空引きし確実に殺カビします。処理済の図書はそのまま安全にご利用いただけます。

「殺カビ サービス」の特長

- 表面だけではなく、図書の内部まで殺カビ
- ビジネス文書、雑誌等にも対応可能
- 処理済の図書・資料はそのままの状態で使用可能

殺カビ サービス フロー

コンテナ引取り
(もしくは当社へ送品)



お預かりから再納品までは
最短で約2週間



処理済みコンテナを納品



当社の専用処理チャンバー

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

ISO14001/ISO9001 認証取得企業

お申込み・
お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

☎ 0120-808-977 ※電話受付:月～金(土・日・祝日を除く)9:00～17:00

本社/〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 支店/大阪・名古屋 営業所/札幌・仙台・広島・福岡

快適な空間を創造・ご提案

※トータルプランニングから設計・施工迄

- ・経験豊富なスタッフが対応します。
- ・安心・安全・エコな商品を提供します。
- ・スピーディーな対応をいたします。



営業品目

木製家具・事務用家具・間仕切家具
内装工事(壁・床)・カーテン・ブラインド工事
看板サイン工事・アクリル・ステンレス加工
図書用品・家具リニューアル
建築工事一式・リフォーム工事(レイアウト変更)

取引メーカー

- ・(株)天童木工・カリモク家具(株)・ナゼロ(株)・(株)アダル
- ・(株)イトーキ・愛知(株)・コクヨ東北販売(株)・アイリスチトセ(株)
- ・(株)スミノエ・(株)川島織物セルコン・立川ブラインド工業(株)
- ・トーソー(株)・(株)品川アート・プロ



時代の半歩先を提案する OCS

建設業 国土交通大臣許可(般 30・第 25354 号)
大沼クリエーションサービス株式会社
<http://www.onuma-cs.co.jp/>

本 社 〒990-2142 山形県山形市松山三丁目 12 番 14 号
TEL 023(642)1390 FAX 023(624)1392
仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目 5 番 20 号 2F
TEL 022(290)5461 FAX 022(290)5462



教育と研究の未来

読み、学び、究めるひとと組織を支援する

Kinokuniya MIRAI - Portal for Research & Educational Resources



紀伊國屋書店営業総本部は、大学をはじめ、高校や専門学校、企業、官公庁、公共図書館、医療機関等さまざまな法人のお客様より、国内外の書籍・雑誌・データベース、システム・設備・備品、図書館業務アウトソーシング等のお取引を通じて、長年ご愛顧を賜ってまいりました。

この「教育と研究の未来」サイトでは、営業総本部の多岐にわたる活動の中から、広くご注目いただきたいさまざまな商品、事例、話題を拾い上げ、ニュース形式で発信してまいります。

グローバル化やICT発展の荒波の中で、大きな変革の時を迎えた教育界や、研究開発が必須の産業界、先行きの不透明な出版業界において、本を読み、教養を学び、学問を究めようとする多くの方々、それらの方々に支援し育成するさまざまな組織の方々へ、「未来」につながる発見や励ましをお届けできれば幸いです。

◆記事・ニュース：

さまざまな商品、事例、話題を拾い上げ、ニュース形式で発信いたします。

◆商品カタログ：

紀伊國屋書店が扱う多彩な商品をご紹介します。

◆期間限定情報：

キャンペーン、イベントなど期間限定の情報をご案内いたします。

◆サービス案内（事業紹介）：

弊社が提供するサービスをご紹介します。

学術情報販売促進本部 The Japan Times Alphaデジタルサービス 事例紹介 1：ディクテーション、ディスカッション、ディベート、スピーチ編 英語の授業・課題にThe Japan Times Alphaデジタルサービスを導入するにはThe Japan Times Alphaは、時事英語を大量に読み込むことを通じてリアルな英語の音声を収録した英語学習用の英字新聞… 2022.03.16	
商品カタログ Oxford Handbooks Online (OHO) 定番シリーズのオンライン版/卓越したレビュー論文のコレクション！ 提供元 オックスフォード大学出版局 (Oxford University Press, OUP) 概要 Oxford Handbooks Online(OHO) (オックスフォード・ハンドブック・オンライン) は、特定の学… 2022.03.04	商品カタログ What Everyone Needs to Know (WENTK) (オックスフォード「誰もが知っておきたい」シリーズ) 時事問題を掘り下げるコンパクトな概説書シリーズがオンライン版で登場！ 提供元 オックスフォード大学出版局 (Oxford University Press, OUP) 概要 新聞やニュースで日頃見聞きすることの多い現代の複雑な時事問題について、それぞれの分野の専門家が現状と背景を分かりやすく… 2022.03.04
期間限定情報	
図書館をつくる CEU Pressのウクライナ関連電子書籍をProject MUSEプラットフォームにて無料公開中 CEU Pressのウクライナ関連電子書籍をProject MUSEプラットフォームにて無料公開中 2022.03.15	自然科学 AIP Publishing：オープンアクセスに関するサーベイご協力お願い（2022年3月24日まで） AIP Publishing：オープンアクセスに関するサーベイご協力お願い（2022年3月24日まで） 2022.03.14
図書館関係者向け サービスのご案内 紀伊國屋書店の幅広い事業から、図書館に携わる方々に役立つサービスをご紹介します。長年培ったノウハウを持つ専門部署と地域に密着した全国各地の営業拠点が一体となって、最適なサポートをご提供します。	



@Kino_mirai

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/>



紀伊國屋書店

東北営業部

弘前営業所

仙台営業所

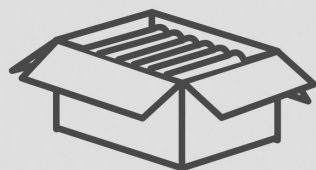
Tel: 0172-36-3755

Tel: 022-227-0301

\Orchestrating a brighter world

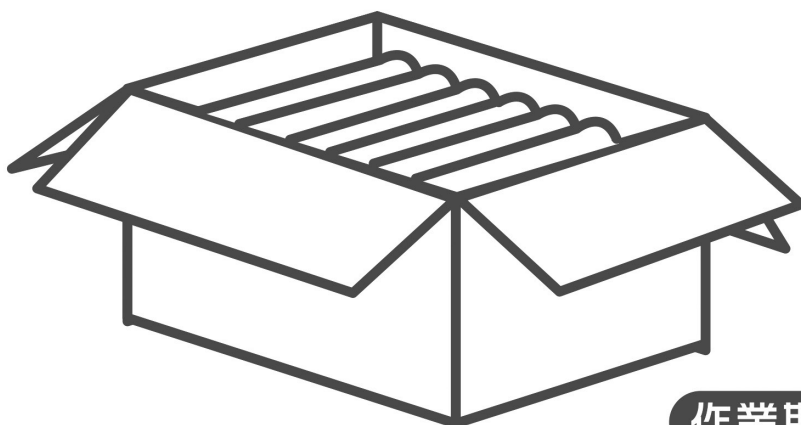
NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

お手軽に 燻蒸 + クリーニング を実施！



箱ごと カビ処理 サービス

ケースに入れて渡すだけ！



作業期間：約 2 か月

図書資料を 1 箱単位でお預かりし、燻蒸処理&クリーニング処理 するサービスです。

燻蒸処理 + クリーニング処理

作業内容

資料
お預かり

対象物の密閉
ガス投薬
燻蒸
ガス回収

安全確認

湿式・乾式
クリーニング

ご納品

燻蒸

燻蒸とは、専用の薬剤により
殺カビ・殺虫・殺卵をするこ
とです。

使用薬剤：エキヒュームS

(公益財団法人文化財虫菌害研究所 認定薬剤)



図書クリーニング

資料の形態に合わせて、
乾式クリーニングと
湿式クリーニングを行います。
(資料の形態によっては
乾式クリーニングのみ行います。)



ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260

大阪 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町221番地3 TEL:072-286-8020 FAX:072-286-8021

名古屋 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775

福岡 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

札幌 仙台 横浜 広島 高松

HP : <https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL : toshokan@nakabayashi.co.jp

公益財団法人 田嶋記念大学図書館振興財団

令和 4 年度 助成募集のご案内

本財団は、我が国の大学図書館の図書・文書・資料の保管及び管理設備の整備に対する助成と、図書・文書・資料の管理システム及び保存技術に関する研究に対する助成をおこなっており、大学図書館の一層の充実、発展を図ることを目的としています。

助成金交付の概要

助成対象

- ①大学図書館の図書・文書・資料の保管・管理設備に対する助成
- ②大学図書館の図書・文書・資料の整備に対する助成
- ③大学図書館の図書・文書・資料の管理システム・保存技術に関する研究者または研究団体に対する助成
- ④大学図書館の図書・文書・資料の保存環境の整備並びに長期保存施策に対する助成

募集期間

- ・毎年 10 月 1 日より 11 月 30 日

募集地域および応募資格

- ・日本国内に所在する大学図書館又は研究者・研究団体

募集要領の掲載（毎年 9 月掲載予定）

- ・国公立大学図書館協力委員会（JULIB）のホームページ
- ・公益財団法人 公益法人協会の運営する「情報公開共同サイト」

公益財団法人 田嶋記念大学図書館振興財団

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2
事務局 清野・秋鹿
TEL:03-5294-1666

東北地区大学図書館協議会誌 第 73 号

令和 4 年 5 月

発 行 仙台市青葉区川内 27 - 1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
☎ (022) 795 - 5910

編 集 仙台市青葉区川内 27 - 1 東北大学附属図書館
